

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	新倉 友梨恵 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科/ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。</p> <p>※実務経験: 新倉:ANA福岡空港のグランドスタッフとして5年間勤務。国内国際線の出発到着業務全般・ロードコントロール業務・新入社員研修・外資系エアラインのマニュアルを翻訳し、スタッフへの教育を行うインストラクターとしても従事。 高増:大分県ブラッサム大分(JR九州ホテルズアンドリゾーツ)に4年間勤務。フロントや電話での接客対応、ロコミや団体予約等の担当を経験。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が学校のルールや規律を知り理解でき基本的な挨拶や返事、生活習慣を整えることができる。 クラス構築をはじめ、全員がお互いを理解して受け入れることができるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	4/16 学生としての心構え、マナー(学校・クラスルールの再確認、シラバス説明、Teamsの使い方) / 健康診断案内
2回目	4/23 学生としての心構え、マナー(アルバイト、公欠届、GWに向けて) / 生活安全教育① / 個別面談スケジュール(各コースごと)
3回目	5/7 GWの振り返り / 生活習慣改善教育② / 面談スケジュール確認
4回目	5/14 生活習慣改善教育③ / 学校イベント・企業訪問に向けての準備・心構え
5回目	5/21 生活習慣改善教育④ / 学校イベント・企業訪問に向けての準備・心構え
6回目	5/28 日常行動検査(チームマネジメント)
7回目	6/11 学校イベントに向けて
8回目	6/18 学校イベントに向けて
9回目	6/25 学校イベントに向けて
10回目	7/2 学校イベントに向けて
11回目	7/9 学スタ説明会
12回目	7/16 夏季休暇に向けて(個人目標を立てる、規律とルールを守って安全に過ごせるように) / インフォメーション
13回目	8/20 夏季休暇の振り返り / 今後のスケジュール確認
14回目	8/27 期末試験(課題・前期の振り返りを経て、後期の目標と計画をシートにまとめる)
15回目	9/3 前期の振り返り及び後期に向けて
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度 70% グループワーク 30%
受講生への メッセージ	新しい環境での学校生活がスタートします!楽しみもあれば不安もあると思いますが、皆さんが安全安心に学校生活を送れるように進めていきます。 少しでも気になる事や不安な事は一緒に解決をしながら、有意義な学校生活を共に送りたいです! また、ホスピタリティ分野1年生合同で授業を進めますので、ホスピタリティマインドをもって取り組みましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
タブレット持参すること	

科目名 (英)	コミュニケーション講座 Communication	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	島寄満美子 / 平田 美菜子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【授業の学習内容】 接客をするうえで必要な実務知識を深めて、サービスの基本を学びます。意識的にコミュニケーションを考え、スキルを使うことによって、円滑なコミュニケーション・心地良い人間関係を築くことを習得する。</p> <p>※実務経験: 専門学校にて、コミュニケーション、接客マナー、接客サービス等の講義を行っている講師である。</p>							
【到達目標】							
<p>コミュニケーションスキルアップ検定合格。 人間関係作りのツールとなるコミュニケーション能力を習得し円滑なコミュニケーションを図ることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 自己紹介 コミュニケーションとは?
2回目	脳の働き 理論→実践を学ぶことができる
3回目	コミュニケーションと社会 知識→実践を学ぶことができる
4回目	コミュニケーションの誤解 知識→実践を学ぶことができる
5回目	コミュニケーションスキルアップ検定について (コミュニケーションとは 自己表現スキル・自己紹介) 知ることができる
6回目	基本的会話スキル向上をさせることができる(①プロセス、聴く・話すの基本、気持ちや考え方の交換を学ぶ)
7回目	自己表現スキルを身につけることができる(①仕事の上で必要とされる表現技術を学ぶ)
8回目	自己表現スキルを身につけることができる(①仕事の上で必要とされる表現技術 ②アンガーマネジメントを学ぶ)
9回目	社会的スキルを身につけることができる(対人行動、対人マナーを学ぶ)
10回目	社会的スキルを身につけることができる(対人マナー②を学ぶ)
11回目	社会的スキルを身につけることができる(対人マナー③を学ぶ・文書作成の実践)
12回目	サービスマインドを身につける(心得、姿勢について学ぶ)
13回目	ソーシャルスタイル 理論について学ぶことができる
14回目	ロールプレイングテスト+レポートを行い自身の習熟度を把握することができる
15回目	総まとめを行い、個の授業を通じて身に付けたことを次につなげることができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	ロールプレイングテスト50% レポート 50%
受講生への メッセージ	コミュニケーションの取り方の方法を学び、実践してみよう。
【使用教科書・教材・参考書】	
コミュニケーションスキルアップ検定テキスト	

科目名 (英)	ホスピタリティ講座	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
	Hospitality lecture	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科/ホスピタリティビジネス科						
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学びます。また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。</p> <p>※実務経験 藤田観光株式会社小倉フントンホテルにて4年半フロント課勤務。大手通信会社での社内インストラクターなど企業や専門学校での講師歴は10年以上。コミュニケーションや就職講座など幅広く担当している。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ②理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ③学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション : 講義の説明 ホスピタリティ動画を視聴し、感動を与えるサービスについて理解することができる
2回目	日本のおもてなし文化から、サービスとホスピタリティの違いや語源・歴史について理解することができる
3回目	「観察→推理→理解→行動」の4ステップ “他人の視座”を考慮することができる
4回目	ホスピタリティの実践① お客様に好感と安心感を持っていただけるよう、基本マナーを身につけて実践することができる
5回目	ホスピタリティの実践② 効果的な「傾聴」の仕方を学習し、実践することができる
6回目	日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性を理解することができる
7回目	顧客満足と顧客ロイヤルティの関係を理解することができる
8回目	「心のバリアフリー」について考え、障がいの特性やサポートの仕方を理解することができる
9回目	異文化コミュニケーション : 「やさしい日本語」を学び、現場で実践することができる
10回目	クレームが起きる原因とお客様のお気持ちを理解し、柔軟に対応することができる
11回目	ハラスメントやコンプライアンスを正しく理解することができる
12回目	課題作成 (PC持参)
13回目	課題作成 (PC持参)
14回目	レポート提出
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つ」ことを意識することが重要です。また、様々な感動体験や自分の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」…締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポートの提出や作成に関して細かいルールがあります。講義の中で説明をしますので理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 ホスピタリティは感動を与えるコミュニケーションです。ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動に生かしましょう。 ホスピタリティを身につけるコツは相手に対するちょっとした気遣いの積み重ねです。クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有して感性を磨いたり、行動を起こすことも心がけてください。 ※講義の内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会 その他内容に応じてプリント等配布。	

科目名 (英)	セルフスタイリング Self styling	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 顔の特徴や個性に似合うスタイリング技術の習得や、TPOに合わせたスタイリングができるように学びます。 ※実務経験:フリーのヘアメイクアーティストとして(20年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。						曜日・時限 月曜日3時限	
【到達目標】 自分自身の顔の特徴、個性を知り、似合うようにスタイリングできるようになる。TPOに合わせたスタイリングができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	科目の目標を理解し、自分の顔の分析ができるようになる。
2回目	顔分析をもとに、個性やメイク方法を考えることができるようになる。
3回目	自分に合ったスキンケア法、ベースメイクの作り方を知り、実践できるようになる。
4回目	自分に合ったアイブロウの整え方、描き方を知り、実践できるようになる。
5回目	ベースメイク、アイブロウ復習 自分に合った方法で美しく仕上げることができるようになる。
6回目	自分に合ったアイメイクの方法を知り、実践できるようになる。
7回目	ベースメイク、アイブロウ、アイメイク復習 自分に合った方法で美しく仕上げることができるようになる。
8回目	自分に合ったリップ、チークの方法を知り、実践できるようになる。
9回目	自分に合った骨格補正の方法を知り、実践できるようになる。
10回目	自分に合った方法でスキンケア～フルメイクを仕上げることができるようになる(確認テスト)
11回目	フォーマルなヘアアレンジを施すことができるようになる。
12回目	カジュアルなヘアアレンジを施すことができるようになる。
13回目	TPOに合わせてヘアメイクを仕上げることができるようになる。
14回目	定期テスト TPOに合わせてヘアメイクを仕上げることができるようになる。
15回目	振り返り、まとめ 苦手部分の練習 苦手部分を克服し、スキルアップを目指す。
準備学習 時間外学習	前授業で学習した内容を忘れないように、次の授業に臨んでください。興味と意欲を持って取り組んでほしいと思います。
評価方法	中間テスト50点・定期テスト50点 (合計100満点) 仕上がりの美しさ、似合わせのテクニック、取り組み方など総合的に評価します。
受講生への メッセージ	自分をセルフスタイリングできるようになるために、まずは自分の顔や個性をしっかりと見つめてみましょう。新しい発見があることを期待しています。楽しんで取り組んでもらえると嬉しいです。
【使用教科書・教材・参考書】 初回授業で伝えます。筆記用具を持参してください。	

科目名 (英)	業界理解	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	久保 康代
	Understanding the Industry	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 前期で得た知識をより深く学びます。 さらに実践的な授業展開で技術力の向上を目指します。 【実務経験】 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チエカチエカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 衣装を使った実践的な授業で現場でも役立つスキルの基礎を習得します。また、トレンドにも触れ、世界の流行やドレスブランドについての知識を深めます。							
授業計画・内容							
1回目	ドレスライン、素材、ブーケの種類を復習し、より深く説明できるようになる。						
2回目	ブライダルインナーの装着、小物のセットができるようになる。						
3回目	メンズ、レディースのサイズ展開や装飾を知り、専門用語で衣装の説明をすることができる。						
4回目	ドレスのカルテを作る事ができる。①						
5回目	"②						
6回目	"③発表						
7回目	メンズフォーマルについて説明ができるようになる。						
8回目	タキシードのフィッティングができるようになる。						
9回目	グループワーク イメージ別トータルコーディネート①						
10回目	"②						
11回目	アイロンがけ、靴磨きができるようになる。						
12回目	姿勢改善エクササイズで、美しい姿勢と所作ができるようになる。						
13回目	トレンドカラー、NYBFWについて説明することができる。						
14回目	評価週						
15回目	卒業生講和						
準備学習 時間外学習							
評価方法	課題提出 80% (トレンドカラー、NYBFWについてのレポート) 平常点 20%						
受講生へのメッセージ	前期の基礎に加え、衣装に関する実践的な内容になっていきます。楽しみながら、しっかり学んでいきましょう！ よろしくお願致します。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	タブレット演習 & ITリテラシー Tablet exercises	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	新谷 芳彦
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) タブレットを使用して基本的な使い方、またインターネットやSNSの正しい知識を身につけます。</p> <p>※実務経験: BIZY DESIGN代表。ロゴ・チラシ制作やWEBデザイン業務に従事している。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT/DXリテラシーに関する基礎知識を学び、正しく理解し活用することができる。 ・個人情報やSNSの特性や危険性について理解することができる。 ・タブレットの基本的な使い方を身につけることができる。 							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、授業内容・シラバスの説明 / 第一章 IT/DXリテラシーとは？
2回目	第二章 コンピュータの概念 / 第三章 情報セキュリティ ※教材使用(持参)
3回目	第四章 ソーシャルメディア ※教材使用(持参)
4回目	第五章 ささまざまな権利や法律 / 第六章 社会に出る前に ※教材使用(持参)
5回目	第七章 DX時代におけるICT環境の変化 / 第八章 IT/DXトレンド ※教材使用(持参)
6回目	IT/DXリテラシー まとめテスト ※教材使用(持参)
7回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(Word編) ※タブレット持参
8回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(Word編) ※タブレット持参
9回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(powerpoint編) ※タブレット持参
10回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(powerpoint編) ※タブレット持参
11回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(Excel編) ※タブレット持参
12回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(Excel編) ※タブレット持参
13回目	タブレットの使用・活用方法を学ぶ(Excel編) ※タブレット持参
14回目	評価週
15回目	授業のまとめ
準備学習 時間外学習	特にSNSやインターネットは学外の時間帯も使用することが多いと思います。 それぞれがリテラシーの意識をもって、正しく活用してください。
評価方法	授業態度 60% 課題制作 40%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。インターネットやSNSを利用するにあたり、正しい知識を身につけ、基本的なタブレット操作を楽しく学習していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット ・IT/DXリテラシー 冊子 	

科目名 (英)	プレゼンテーション(パワーポイント)演習 Practice for presentation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大西 希久永
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 皆さんが希望する進路においても、いかにプレゼンテーションスキル習得が就職活動、また卒業後の各自の強みになるかを認識してもらったうえで、意欲的に学んでもらいたく考えます。</p> <p>プレゼンテーションに必要なスキルの基礎を学び、授業ごとにポイントを決めて実践。プレゼンテーション力の向上を目指します。</p> <p>※実務経験：局勤め始めて喋り歴約20年。アナウンサー業、また様々な業界業種の企業研修、営業/販売戦略や人材に関して企業へのアドバイス業務を行なっている講師が、実用的/効果的なPowerpoint作成、プレゼンテーションの仕方を習得出来るように授業を実施します。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーションを行う際に第一優先で必要なことを理解する。 ●社会人になった際に、身につけておく様々なシーンで役立つプレゼンテーションスキルを習得出来る。(授業内で繰り返し実践することで人前で話すことに慣れることが出来る。) ●自分の考えや企画をPowerpointで作成出来、Powerpoint を使用してのプレゼンテーションが出来る。 							

授業計画・内容	
1回目	学ぶ目的/メリットを説明。人前での自己紹介を通して、現時点でのプレゼンスキルの確認と今後目指すプレゼンテーションのヒントを各自がイメージ出来るようになる。
2回目	プレゼンテーションを行う前に基礎を習得、実践出来るようになる。
3回目	プレゼンテーションで本来考えるべきポイントを明確化出来るようになる。
4回目	1~2枚のスライドを使用してのプレゼンテーション。Powerpointというツールの本来の意味を理解しプレゼンテーションが出来るようになる。
5回目	1~2枚のスライドを使用してのプレゼンテーション。前回の個々の改善点をしっかり改善出来るようになる。
6回目	プレゼンテーション作成の流れを理解し、作成に落とし込めるようになる。
7回目	情報収集、聞き手分析の重要性に気づくことが出来、取り組めるようになる。
8回目	プレゼンテーション時のPowerpointのスライド作成順を理解したうえで、作成が出来るようになる。
9回目	(発表に向けての作成準備)個々のPowerpoint作成における強み、改善点を認識出来るようになる。
10回目	Powerpointを使用してのプレゼンテーション発表① Powerpointを使用してのプレゼンテーションに慣れることが出来る。
11回目	Powerpointを使用してのプレゼンテーション発表② 個々のプレゼンテーションの強みを伸ばし、改善点を改善することが出来るようになる。
12回目	(発表に向けての準備)これまでの授業を踏まえたプレゼンテーション準備が行えるようになる。
13回目	(発表に向けての準備)これまでの授業を踏まえたプレゼンテーション準備が行えるようになる。
14回目	評価週 Powerpointを使用しての グループ発表
15回目	まとめ・追試/再試発表フィードバック/まとめ
準備学習 時間外学習	基本的には授業中の作業のみ。授業時にPowerpoint 作成、プレゼンテーション練習が終わらなかった際のみ、授業時間外に実施。
評価方法	授業内でのレポート提出 20% 個人発表 30% 期末でのグループ発表 50%
受講生への メッセージ	就職活動の際、社会人になってからと、人前でのプレゼンテーションが必要となる場面が多々出てくると思います。必要になった際に慌てて知識を習得するのではなく、早い段階で知識を習得しておくこと、慣れておくことが重要です。本講義ではプレゼンテーションに慣れること、実用的/効果的なプレゼンテーションの仕方を習得することを目標に授業を行なっていきます。授業を通して皆さんの「伝える力」を伸ばしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	プレゼンテーション(パワーポイント)演習 Practice for presentation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大西 希久永
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 前期同様、皆さんが希望する進路においても、いかにプレゼンテーションスキル習得が就職活動、また卒業後の各自の強みになるかを認識してもらったうえで、意欲的に学んでもらいたく考えます。プレゼンテーションに必要なスキルの基礎を学び、授業ごとにポイントを決めて実践。プレゼンテーション力の向上を目指します。【実務経験】 局勤め含めて喋り歴約20年。アナウンサー業、また様々な業界業種の研修、人材に関してやプロモーション方法など企業へのアドバイス業務を行なっている講師が、実用的/効果的なPowerpoint作成、プレゼンテーションの仕方を習得出来るよう授業を実施します。							
【到達目標】							
●前期で学んだことを活かしてのプレゼンテーション作成/発表が常にできるようになる。●社会人になった際に、身につけておく様々なシーンで役立つプレゼンテーションスキルを習得できる。●授業内で繰り返し実践することで発表経験を増やすことができる。●他学生の発表を聴くことで、様々なスキルを発見することができる。●プレゼンテーションにおける各個人の強みを見つけることができる。							
授業計画・内容							
第1回	前期で学んだことの復習。後期授業のオリエンテーション。様々なプレゼンテーションの場を知ることができる。						
第2回	ディスカッション、ディベートを通してプレゼンテーションスキルを身につけることができる。(就職活動におけるものも説明)						
第3回	フリートークを通してプレゼンテーションスキルを身につけることができる。						
第4回	数名に対してのプレゼンテーションを通して、対話/コミュニケーションを意識したプレゼンテーションスキルを身につけることができる。						
第5回	ニュースのプレゼンテーションを通して、情報収集/情報取捨選択のスキルを身につけることができる。						
第6回	食べ物のプレゼンテーションを通して、表現力のスキルを身につけることができる。						
第7回	イベント参加						
第8回	特定の人物へのプレゼンテーションを通して、営業プレゼンテーションのスキルを身につけることができる。						
第9回	個人でのスキルをチームプレゼンテーションで活かすことができる。発表準備①						
第10回	個人でのスキルをチームプレゼンテーションで活かすことができる。発表準備②						
第11回	個人でのスキルをチームプレゼンテーションで活かすことができる。発表準備③						
第12回	個人でのスキルをチームプレゼンテーションで活かすことができる。発表準備④						
第13回	プレゼンテーションにおける発表練習(リハーサル)の重要性を学ぶことができる。						
第14回	評価週 グループ発表/レポート提出						
第15回	発表フィードバック/まとめ						
準備学習 時間外学習	基本的には授業中の作業のみ。授業時にプレゼンテーション発表準備、練習が終わらなかった際のみ、授業時間外に実施。						
評価方法	授業内でのレポート提出20%、発表30%期末でのレポート提出20%、発表30%						
受講生への メッセージ	就職活動の際、社会人になってからと、人前でプレゼンテーションが必要となる場面が多々出てくると思います。必要になった際に慌てて知識を習得するのではなく、早い段階で知識を習得しておくこと、慣れておくことが重要です。本講義では前期同様プレゼンテーションに慣れること、実用的/効果的なプレゼンテーションの仕方を習得することを目標に授業を行なっていきます。授業を通して皆さんの「伝える力」を伸ばしてください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	はなだ 東砂
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験: 英語講師歴20年以上。英語翻訳実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Speak now Lesson1/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
2回目	Speak now Lesson2・3/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
3回目	Speak now Lesson4・5/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
4回目	Speak now Lesson6・7/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
5回目	Speak now Lesson8・9/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
6回目	Speak now Lesson10・11/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
7回目	中間テスト
8回目	Speak now Lesson12・13/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
9回目	Speak now Lesson14・15/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
10回目	Speak now Lesson16・17/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
11回目	Speak now Lesson18・19/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
12回目	Speak now 復習/英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
13回目	Speak now 復習/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
14回目	期末テスト
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、英文法20%、英単語20%、接客英語フレーズ20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	英語の基礎を学びなおしながら、接客英語など、実戦的に使える英語力を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak now/英文法プリント/英単語教材等	

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	はなだ 東砂
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス)/British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Speak now 復習/ 英文法プリント復習/英単語プリント復習/接客英語フレーズ復習
2回目	Speak now 復習/ 英文法プリント復習/英単語プリント復習/接客英語フレーズ復習
3回目	Speak now 復習/ 英文法プリント学習復習/英単語プリント学習復習/接客英語フレーズ復習
4回目	Speak now 13, 14, 15/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
5回目	Speak now 16,17,18/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
6回目	Speak now19, 20, 21/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
7回目	中間テスト
8回目	Speak now 22, 23, 24/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
9回目	Speak now 25, 26, 27/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
10回目	Speak now 28, 29, 30/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
11回目	Speak now 31, 32/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
12回目	Speak now 総復習/英語ビジネスレター練習/接客英語フレーズ総復習
13回目	Speak now 復習/英語ビジネスレター練習/接客英語フレーズ復習
14回目	期末テスト
15回目	企画クラス
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、英文法20%、英単語20%、接客英語フレーズ20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	英語の基礎を学びながら、接客英語など、実戦的に使える英語力を身につけましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>Speak now/英文法プリント/英単語教材等</p>	

科目名 (英)	ブライダル基礎 I Basic Bridal Studies I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルに関する基礎知識を身につけましょう。</p> <p>※実務経験:ブライダル業界28年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」設立26年</p>							
<p>【到達目標】 ブライダル知識を高め、基本を身に付ける</p>							

授業計画・内容	
1回目	4月15日 オリエンテーション、授業内容の説明、評価表の説明(自己紹介)
2回目	4月22日 DVD(ブライダルシーン)ホテル、レストラン、専門式場の相違を理解することができる
3回目	5月13日 ブライダルのマナー(招待状の返信・参加者のファッション・のし袋の書き方)を身に付ける
4回目	5月20日 ブライダル概論(I)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割を理解することができる
5回目	5月27日 ブライダル概論(II)ブライダル用語Aを学び知識を身に付ける(50問)
6回目	6月3日 ブライダル概論(III)ブライダル用語Aを学び知識を身に付ける(50問)、中間テスト告知
7回目	6月10日 中間テストと解答と解説
8回目	6月17日 ブライダル基礎(I)披露宴の基礎プログラムを理解することができる
9回目	6月24日 ブライダル基礎(II)披露宴の当日までのスケジュールを理解することができる
10回目	7月1日 ブライダル基礎(III)披露宴の今どきの演出を理解することができる
11回目	7月8日 ブライダル基礎(IV)披露宴の進行表を理解することができる
12回目	7月15日 ブライダル用語Bを学び知識を身に付けることができる(50問)
13回目	8月26日 ブライダル用語Bを学び知識を身に付けることができる、期末テスト告知
14回目	9月2日 期末テスト解答と解説を学び身に付けることができる
15回目	9月9日 前期授業の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	中間テスト 50% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。ブライダルの基礎をしっかりと学びましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配布(ゼクシィ持参)	

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅱ Basic Bridal StudiesⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 現役で現場に携わっている者として、基本的な知識(今のトレンド)等に興味を持ってもらえるよう授業を遂行する							
【実務経験】 ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立25年							
【到達目標】 披露宴当日までのスケジュール・当日のスケジュールの理解を深め 模擬披露宴を実施する							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り(人前式) 模擬披露宴の基礎プログラムを理解することができる
2回目	ブライダル基礎(Ⅱ) 披露宴当日までのスケジュールを理解することができる
3回目	ブライダル基礎(Ⅲ) トレンド演出&定番演出を理解することができる
4回目	ブライダル基礎(Ⅳ) 当日のスケジュールを理解することができる
5回目	模擬披露宴のスケジュールを理解することができる
6回目	模擬披露宴のキャストを決め当日までのスケジュールを理解することができる
7回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
8回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
9回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
10回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
11回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
12回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
13回目	模擬披露宴のテーマを決め進行表を考え理解することができる
14回目	模擬披露宴実施(バンケット使用)
15回目	模擬披露宴の振り返り(レポート提出)
準備学習 時間外学習	模擬披露宴を1/16(木)に行う予定
評価方法	最終日の模擬披露宴全体の評価とする
受講生への メッセージ	披露宴のプログラムを理解し、模擬披露宴を成功に繋げてほしいです
【使用教科書・教材・参考書】 講師配布(ゼクシィ持参)	

科目名 (英)	ブライダルプランニング I Bridal planning	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日5時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 挙式の基礎知識を身につけ、模擬挙式をつくりあげることができるように実践します。</p> <p>※実務経験:ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立25年</p>							
<p>【到達目標】 基本の挙式を理解し、学生自ら模擬挙式の役割を身に付ける</p>							

授業計画・内容	
1回目	4月15日 挙式スタイルを理解する(神前式・チャペル式・人前式)
2回目	4月22日 人前式の基本を理解し、プログラムを理解することができる
3回目	5月13日 人前式のプログラムを組み立てて、理解することができる (5/15授業チェンジの可能性あり。人前式を見学する)
4回目	5月20日 人前式のプログラムを進行(キャスト決め含む)
5回目	5月27日 人前式の役割とプログラムを進めることができる
6回目	6月3日 人前式の役割とプログラムを進めることができる
7回目	6月10日 人前式の役割とプログラムを進めることができる
8回目	6月17日 模擬人前式を行う(スタンダード I)
9回目	6月24日 役割を変えて人前式の進行を行うことができる
10回目	7月1日 役割を変えて人前式の進行を行うことができる
11回目	7月8日 役割を変えて人前式の進行を行うことができる
12回目	7月15日 役割を変えて人前式の進行を行うことができる
13回目	8月26日 模擬人前式を実行することで理解することができる
14回目	9月2日 模擬人前式を実行することで理解することができる
15回目	9月2日 模擬人前式を実行することで理解することができる
準備学習 時間外学習	5/27よりバンケとチャペル会場を使用する予定です。(次回の集合場所等は随時連絡します) 式場見学については別途お知らせします。
評価方法	レポート提出及びチーム評価と役割評価 100%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。基本の人前式を役割を変えることで総合的に理解できるようになりましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配布	

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅡ Bridal planning	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 【学習内容】現役で現場で携わっている者として、体験談や今ブライダル業界で求められている人材の話を変えながら興味を持ってもらえるよう授業を遂行する 【実務経験】ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立25年							
【到達目標】 コミュニケーション力を高め、ロールプレイが上達できるように導く							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルプランニングについての内容が理解できる
2回目	アイズブレイクの意味を理解することができる
3回目	新規顧客ロールプレイング(BIAのDVD鑑賞)レポート提出
4回目	新規接客のロープレを行い、理解することができる I 名刺交換
5回目	新規接客のロープレを行い、理解することができる II アンケートシート
6回目	新規接客のロープレを行い、理解することができる III ヒアリング語法
7回目	ロープレの台本を作成する(①ホテル②ゲストハウス③専門式場④レストラン)
8回目	中間テスト(新規接客のロープレ各自実技)
9回目	プランナー又はスタイリストとして受注を行う(①ヒアリング②コミュカ③見積提案④クロージング)
10回目	受注に至るまでのストーリーを作成し理解することができる(基本Ⅰ)
11回目	発注に至るまでのストーリーを作成し理解することができる(基本Ⅱ)
12回目	衣装店or会場見学 (レイジーシンデレラor日航ホテル)
13回目	ブライダルフェアの企画を2グループで行う
14回目	ブライダルフェアの企画を2グループで行う
15回目	期末テスト(2グループでのブライダルフェアのプレゼン)
準備学習 時間外学習	衣装店or会場見学を希望します
評価方法	実技 中間テスト(ロープレ)50% 期末テスト(プランニング・プレゼン)50%
受講生への メッセージ	ブライダルプランニングを理解しスケジュールリングができるようになりましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配布	

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎 Dressstyling foundation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	久保 康代
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 婚礼衣装に関する基礎知識を学ぶ。							
※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 新郎新婦の衣装、それに付随する小物についての基礎知識を身につけ、基本的なコーディネートが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割と仕事内容について説明出来るようになる
2回目	ウェディングの種類、挙式スタイルについて説明出来るようになる
3回目	日本と世界のウェディングの歴史を説明出来るようになる
4回目	新婦のドレスライン、素材について説明出来るようになる
5回目	ドレスの小物について説明出来るようになる
6回目	コラージュ作成①(自分の好きなウェディング)
7回目	フィッティングが出来るようになる①
8回目	”②
9回目	”③
10回目	ドレスインナーについて説明出来るようになる
11回目	相モデルに小物をセットすることが出来るようになる
12回目	コラージュ作成②(テーマに沿ったウェディング)
13回目	期末試験準備
14回目	評価週
15回目	まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	評価週 筆記80% 平常点20%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。 お客様が運命の1着に出会うお手伝いをさせて頂くのがドレススタイリストのお仕事です。 本授業でその基礎に触れ、楽しみながら学んでいきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 学校手配の教科書「ブライダルの基礎知識」 プリント配布	

科目名 (英)	ヘアメイク基礎 Hair make basics	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイクの基礎を学び、実践できるようにします。</p> <p>※実務経験:フリーのヘアメイクアーティストとして(20年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。また、JMA認定講師としても活動。</p>							
<p>【到達目標】 相モデルに合わせたヘアメイクを施すことができるようになる。ヘアメイクの基本的な知識とテクニックを習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	道具の使い方と衛生管理の仕方を理解する。技術者としての心構え、施術での接遇を理解する。
2回目	ヘア① ビン、ゴム、ブラシの使い方を理解し、実践できるようになる。
3回目	ヘア② 三つ編み、編み込み、ローブ編みなどのテクニックを習得し、実践できるようになる。
4回目	ヘア③ アイロンの使い方を習得し、実践できるようになる。
5回目	ヘア④ 前回までのテクニックを使って、アレンジができるようになる。
6回目	ヘア⑤ 前回までのテクニックを使って、アレンジができるようになる。(中間テスト練習)
7回目	中間テスト ヘアアレンジを完成させることができるようになる。(ウィッグ使用)
8回目	相モデルで似合うヘアアレンジを考え、実践できるようになる。
9回目	メイクを行うにあたっての接遇を理解し、実践できるようになる。
10回目	モデルに似合うアイブロウを描けるようになる。
11回目	モデルに似合うアイメイクを施せるようになる。
12回目	モデルに似合うアイブロウとアイメイクを施せるようになる。
13回目	モデルに似合うリップ、チーク、骨格補正を考え、施せるようになる。
14回目	相モデルに似合うポイントメイクを施せるようになる。(定期テスト練習)
15回目	定期テスト モデルに似合うポイントメイクを仕上げることができる。
準備学習 時間外学習	各週の内容を忘れないように、興味を持って取り組んでください。
評価方法	中間テスト50点、定期テスト50点(合計100点満点) 仕上がりの美しさ、似合わせのテクニック、取り組み方など総合的に評価します。
受講生への メッセージ	人の顔に触る、髪に触る時のマナーや気遣いを知り、楽しんで取り組んでください。自分の顔のように、人の顔に興味を持ってみてください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>持参物は初回授業で伝えます。筆記用具を毎回持参してください。</p>	

科目名 (英)	ドレス服飾史 History of Dress Clothing	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	櫻井 まどか
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 衣服は「身を守るもの」「属性を示すもの」「立場を象徴するもの」「自己を表現するもの」「礼儀・マナー」として毎日欠かさず着用される。 服飾史を学ぶことにより、その進化を理解する。また、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることにより基礎力を高め、創造力を養う。</p> <p>※実務経験：(株)ユミカツラインターナショナルレンタルドレスサロンにてサブチーフアドバイザーとして9年勤務。同じくプレタクチュールサロンにてチーフアドバイザーとして5年勤務。(一社)全日本ブライダル協会にて19年勤務。現在、全日本ブライダル協会認定講師、日本フォーマル協会認定ブライダル講師</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>基本的な服飾専門用語を理解できるようになる。 服飾の歴史を理解できるようになる。 歴史を学ぶことにより基礎力を高め、創造力を養う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	導入、「衣服とは何か？」を考えることにより服装に対する意識を高める。
2回目	古代Ⅰ メソポタミア・エジプトの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
3回目	古代Ⅱ ギリシャ・ローマの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ペールの重要性)
4回目	中世Ⅰ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(キリスト教の影響)
5回目	中世Ⅱ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(ルネッサンスによる文化革命)
6回目	近世Ⅰ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(宗教改革の影響)
7回目	近世Ⅱ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(最盛期を迎えた貴族社会)
8回目	中間テスト
9回目	近代Ⅰ イギリス ヴィクトリア女王の結婚式から歴史を学ぶ(ウェディングドレスは何故白いのか?)
10回目	近代Ⅱ 近代ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解する(勤労を示す黒と貞淑を示す白)
11回目	近現代Ⅰ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(20世紀初頭～第二次世界大戦)
12回目	近現代Ⅱ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解する(第二次世界大戦～現在)
13回目	試験対策を兼ねた復習
14回目	評価週
15回目	まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50点、期末テスト50点 の合計点数で評価 中間試験:筆記試験 虫食い問題など50点 期末試験:筆記試験 虫食い問題など50点
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。服飾の歴史を学ぶことにより、衣服はどのような目的で着用されて来たのか理解できます。単に歴史を学ぶだけではなく、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることを楽しんでください。それが基礎力を高め、創造力となり、唯一無二の自分の未来を作る力になると思います。
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>「世界服飾史のすべてがわかる本」 ※本講義はオンライン授業です。各自タブレット(Zoomアプリ使用)とイヤホンを持参してください。</p>	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3・4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】 レストラン技能検定を目指すうえで、サービス観点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、レストランサービスのスキルを身に付ける。 実践的にロールプレイングを行い実践で活躍できるレベル。</p>							

授業計画・内容	
1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助ができるようになる
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方を学ぶことができる
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用方法を理解する事ができる
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方を学ぶことができる
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したパッシング(片づけ)・トレイの使用方法を理解する事ができる
6回目	課題の抽出と克服
7回目	知識の確認と技術習得の復習
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓
9回目	12分制限時間内での課題終了
10回目	12分制限時間内での課題終了
11回目	9分制限時間内での課題終了
12回目	9分制限時間内での課題終了
13回目	試験対策
14回目	評価週
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レストランサービスを基礎から体系的に学ぶ事で学習を実際の現場での反映できる考え方を学ぶ。管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎知識を身に付けます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
2回目	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
3回目	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
4回目	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
5回目	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
6回目	課題の抽出・中間試験対策
7回目	中間試験(筆記)
8回目	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
9回目	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
10回目	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
11回目	西洋料理の食事用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
12回目	課題の抽出・試験対策
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	

科目名 (英)	イベント企画	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	event planning	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。</p> <p>【授業内容】 ・産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに取り組むことで、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。 ・チームでイベントを企画運営することを通して、コミュニケーション力や組織内での育成力を身に付けることができるような授業を実施します。</p>							
<p>【到達目標】 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。 主体的にプロジェクトに取り組み、チームで目標を達成する。 礼儀と責任感を持ってお客様・学生同士で関わるができるようになる SNS等を使用した集客に関する方法を学び、実践に移すことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる 新郎新婦様のプロフィール、お写真共有/撮影チームグループ分けを行う
第2回	新郎新婦様のご希望をもとにロケハンを行う
第3回	前撮り指示書の作り方をすることができる ※ロケハン予備日
第4回	前撮り指示書の作成を行う
第5回	前撮り指示書の作成を行う
第6回	前撮り指示書の作成を行う ※11月1日 講師代講にて実施
第7回	進級制作展のドレスショー準備①チーム組閣、テーマの共有
第8回	進級制作展のドレスショー準備②進捗に合わせた準備
第9回	11月22日 前撮り前日準備・最終確認
第10回	進級制作展のドレスショー準備③進捗に合わせた準備 ※モデルオーディション実施の可能性あり
第11回	進級制作展のドレスショー準備④進捗に合わせた準備
第12回	進級制作展のドレスショー準備⑤進捗に合わせた準備
第13回	進級制作展のドレスショー準備⑥進捗に合わせた準備
第14回	進級制作展のドレスショー準備⑦進捗に合わせた準備 ※ヘアメイクリハーサル
第15回	進級制作展のドレスショー準備⑧進捗に合わせた準備 ※ヘアメイクリハーサル
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。 ★前撮り当日の時間は「進級制作」の時間の扱いとなります ★2月4・5・6・7日に進級制作展準備日・当日として別途とっています。この日にドレスショーの最終リハーサル等を行います。「進級制作」の授業の扱いとなります
評価方法	出席率50%、イベント達成度50%(別紙参照)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	写真・SNS Photo technique & SNS	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 身近で使用されているSNSを中心に運用方法や効果的な活用について学びます。</p> <p>※実務経験: TV・イベント制作会社、広告代理店勤務、企業SNS配信担当の経験から、実践的に活用できる、写真・SNS基礎知識とweb色彩やデザインの基礎をふまえて画像制作まで行う。同時に、企業側から消費者へマーケット目線で有効的な写真&画像制作のポイントも取り入れて学びます。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p><具体的な目標> SNS上での写真の活用方法、ブランディング、効果的な投稿テクニックを理解します。 実際に写真を取り画像加工ができるようになる。 消費者目線を意識した、SNS種類と配信の知識を学び目的別に活用できるようになる。 最終的には、自分の作品をSNSで効果的に発信できるようになることを目指します</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、講師紹介、他已紹介、SNSについて・パスる投稿は??ワーク
2回目	SNSアプリ種類など学ぶ/活用してできることはどんな仕事&どんな事?ワーク
3回目	写真の基本撮り方、見栄えする写真撮影方法について→次回授業までに写真を撮影しておく
4回目	画像加工について学ぶ/文字入れ・フォントの種類/チーム別ワーク発表
5回目	画像加工について学ぶ/効果的な色使い、配色について/チーム別ワーク発表
6回目	SNS種類、各SNS特徴と使用するときのポイントについて学ぶ/誰に向けての配信(ターゲット)とSNS配信を考えるワーク
7回目	CANVAの紹介・使い方レクチャー→次回授業までに写真を複数枚撮影しておく
8回目	①画像アップロード方法レクチャー/CANVA使用して「Instagram」の画像作成実践作業
9回目	②「Instagram」ビジネスページの説明、画像保存機能・画像の種類について/前回の続き「Instagram」画像作成実践作業
10回目	SNS効果的な投稿について、「Instagram」ハッシュタグ選定方法を学ぶ/該当する業界の投稿を閲覧して必要なタグをピックアップするワーク
11回目	読まれるSNS文章の書き方、投稿時のポイントを学ぶ/「Instagram」投稿を想定して消費者に向けて作品PR文章の実践
12回目	SNSヘッダー効果について/CANVA使用して「X」ヘッダー画像作成実践作業
13回目	「Instagram:ストーリーズ」について、CANVA動画・アニメーション機能を学ぶ/CANVA使用して「ストーリーズ」画像作成実践作業
14回目	評価:お題に基づきCANVAで画像作成
15回目	テスト振り返り、ITリテラシーについて学ぶ
準備学習 時間外学習	日頃見慣れているSNSも、写真の使い方、文章内容、色合い、文字の大きさ等どんな工夫がされているかチェックするようにしてみてください!今までの見方と変わってきつと新たな発見があります。 いいな!と思った投稿画像を授業の制作作業時に取り入れてみてください。
評価方法	テスト評価70% 授業態度10% 提出物20%
受講生への メッセージ	今や誰もが簡単にSNSを利用できますが、個人と企業(会社)での活用方法は全く異なります。 みなさんには、今後SNSを活用していく企業(会社)側の視点も持てるよう有効的な発信をして行くための基礎知識と一緒に身に付けて行きましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>※タブレットを毎時間持参してください。</p>	

科目名 (英)	司会・アテンド演習 Moderator / Attend Exercise	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 【学習内容】現役で現場で携わっている者として、体験談や今ブライダル業界で求められている人材の話を交えながら興味を持ってもらえるよう授業を遂行する 【実務経験】ブライダル業界26年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。その後ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」設立25年							
【到達目標】 ・模擬披露宴での司会を行うことができる ・模擬披露宴でのアテンド業務ができる							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルアテンドの役割を知る(山本講師 紹介)
2回目	挙式でのアテンドの役割を理解することができる
3回目	披露宴でのアテンドの役割を理解することができる
4回目	メインテーブルの座り方、ドレスのさばき方、ブーケの持ち方を理解することができる
5回目	ブーケ・ブートニアの正しい装着の着方が理解できる
6回目	アテンド実技テスト(中間テスト)
7回目	披露宴の台本作り、2グループで考え理解することができる
8回目	実際の現場でのMCによる実技、質問(猿渡講師 紹介)
9回目	披露宴の台本作りを2グループで考え理解することができる
10回目	披露宴の台本作りを2グループで考え理解することができる(ホテル、ゲストハウス、レストラン)
11回目	披露宴の台本作りを2グループで考え理解することができる(ホテル、ゲストハウス、レストラン)
12回目	披露宴の台本作りを2グループで考え理解することができる(ホテル、ゲストハウス、レストラン)
13回目	披露宴の台本作りを2グループで考え理解することができる(ホテル、ゲストハウス、レストラン)
14回目	各個人プレイで司会レッスンをし、内容の理解ができる
15回目	披露宴の司会実技テストの実施
準備学習 時間外学習	10/22より9階バンケットを使用します(第4回目～第6回目)
評価方法	中間テスト(実技)50%…アテンド (実技)50%…司会
受講生への メッセージ	模擬披露宴には必須なアテンド・司会なのでリアルウェディングには習得してほしいです
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配布	

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>フライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。結婚披露宴の重要な演出要素であるBGMの選定や著作権についての基礎知識に加えて、現在のトレンドであるムービー演出などについても詳しく勉強してもらいます。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェディングの音響、照明、映像演出について基本的な知識を身につける ・演出においてもっとも重要なBGMについて基本的な知識を身につける。 							

授業計画・内容	
第1回	イントロダクション(仕事・結婚式の演出など)
第2回	ホテルの結婚式・はじめエンタテインメントについて
第3回	BGMの選び方について(基本的な内容についての講義)
第4回	BGMの選び方について(自分で好きなように選んでみよう)
第5回	BGMの選び方について(新郎新婦さんにコーディネートしてみよう)
第6回	音楽著作権に関して
第7回	音響・照明・映像演出について(基本的な内容についての講義)
第8回	音響・照明・映像演出について(新郎新婦さんにコーディネートしてみよう・グループワーク)
第9回	音響・照明・映像演出について(新郎新婦さんにコーディネートしてみよう・プレゼン)
第10回	音響・照明・映像演出について(サウスポイントスタッフ座談会)
第11回	機材操作について
第12回	機材操作について
第13回	機材操作について
第14回	授業を通じてのレポート制作
第15回	授業を通じてのレポート発表
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題 100%
受講生へのメッセージ	ウェディング業界を目指す皆様にとって「演出」という観点からいろんな知見を身につけてほしいなと思っています。短い時間ですが皆様の将来にとって少しでも役に立てられれば幸いです。一緒に頑張って学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	会場装花・フラワーアレンジメント	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Flower Exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【授業内容】 ウェディングに関する花の知識、ブーケやアレンジメントのスタイルを理解する。							
【実務経験】 フラワーデザインに関わって30年以上、ウェディングのブーケの制作や装飾に関する経験があります。指導は、25年以上。その経験を活かし、わかりやすく指導します。							
【到達目標】 花に関する知識を持ち、ウェディングと花の関わりを理解し、花に興味を持ち、ウェディングに活かせる様になる。							

授業計画・内容	
第1回	ウェディングのフラワーについて、ウェディングと花との関わりについて学ぶ
第2回	コサージュとブートニア、ワイヤリングとテーピングについて学ぶ
第3回	花束作成のデモ、花の処理の仕方、束ね方や保水、ラッピングについて学ぶ
第4回	アレンジメントの形、種類について学ぶ
第5回	ゲストテーブルの花のアレンジメントを作る、ゲストテーブルの花を制作する際の注意点を学ぶ
第6回	ブーケの種類、ドレスとの相性やトレンド等を学ぶ
第7回	ラウンドブーケ制作、ブーケの作り方を学ぶ
第8回	中間テスト、前回までの復習
第9回	季節の花について、季節の花の花や周年の花、トレンドの花について学ぶ
第10回	行事の花・クリスマスのアレンジメント制作、クリスマスのカラー等を学ぶ
第11回	メインテーブルのアレンジメントについて学ぶ
第12回	いろいろなアレンジメント、受付、ギフト、ケーキやキャンドル周りのアレンジメントを学ぶ
第13回	フローラルアクセサリー制作、フローラルアクセサリーの種類等を学ぶ
第14回	テスト、復習
第15回	ウェディングと花、総まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト、授業内評価
受講生への メッセージ	ウェディングと花は密接な関係があるので、花に興味を持って欲しいです。楽しんで授業を受けて欲しいです。
【使用教科書・教材・参考書】	
花と遊ぶ・花と学ぶフラワーデザイン入門、フラワーデザイナーの為の花の教科書	

科目名 (英)	パーソナルカラー3級 Personal colorist grade 3	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 検定合格に向けて色彩について基礎から学びます。</p> <p>※実務経験:フリーのヘアメイクアーティストとして(20年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。 また、JMA認定講師としても活動。</p>							
<p>【到達目標】 パーソナルカラー検定3級合格に必要な知識、技術を習得できる。基本的な色彩知識を習得し、ブライダル分野でどう生かせるかを考え、実践できるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	パーソナルカラーとは何かを知り、理解できる。 第1章 日本の色の歴史
2回目	第1章 日本の色の歴史 まとめ、ポイントを理解できる。
3回目	第1章 色の種類 まとめ、ポイントを理解できる。
4回目	第2章 色のしくみ CUS表色系 ポイントを理解できる。
5回目	第2章 CUS表色系 まとめ、ポイントを理解できる。
6回目	第2章 三属性 対比、感情効果、CUS配色効果 まとめ、ポイントを理解できる。
7回目	中間テスト 第1章、第2章より出題
8回目	中間テスト 振り返り 第3章 ファッション概論 ポイントを理解できる。
9回目	第3章 ファッション概論 まとめ、ポイントを理解できる。
10回目	第4章 パーソナルカラー① ポイントを理解できる。
11回目	第4章 パーソナルカラー② ポイントを理解できる。
12回目	第4章 パーソナルカラー③ ポイントを理解できる。
13回目	定期テスト対策 過去問を解いて、理解を深める。
14回目	定期テスト 全章より出題
15回目	まとめ、振り返り、解説 苦手部分を克服する。
準備学習 時間外学習	必ず復習をして次の授業に臨むこと。難しい単元もありますが、事前に教科書に目を通しておくとう理解力が増します。
評価方法	中間テスト50%、定期テスト50% 合計100点満点で評価します。
受講生への メッセージ	色彩についての勉強です。身近にある『色』についてじっくり考えてみましょう。ややこしい単元もありますが、勉強すれば必ず理解でき、検定合格もできます。将来ブライダル分野だけでなく、日常生活でも生かせる知識となります。まずは色に興味を持って取り組んでみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
パーソナルカラー検定3級テキスト、カラーカード、筆記用具	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルコーディネイト検定受験に向けて学びます。</p> <p>※実務経験:ブライダル業界28年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在では育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」設立26年</p>							
<p>【到達目標】 2027年1月第3水曜日又は第4水曜日の国家資格検定(3級)に合格できる</p>							

授業計画・内容	
1回目	4月10日 オリエンテーション 授業内容の説明、評価方法の説明、教本の説明
2回目	4月17日 ブライダルコーディネイトとは 第1章 結婚の定義が理解できる (P1~P11)
3回目	4月24日 第2章 日本の結婚式と歴史と文化の定義が理解できる (P12~P17)
4回目	5月8日 結婚に関する風習・いわれ 第3章 欧米の結婚式、歴史と文化の理解ができる (P17~P26)
5回目	5月15日 欧米の結婚式①イギリス②フランス③イタリア④アメリカの理解ができる (5/13授業チェンジの可能性) (P26~P32)
6回目	5月22日 第1章 ブライダルビジネス 第2章 ブライダル市場 第3章 ブライダル業種が理解できる (P34~P39)
7回目	5月29日 第4章 ブライダル関連業種 中間テスト告知が理解できる (P40~P44)
8回目	6月12日 中間テスト実施、解答が理解できる
9回目	6月19日 第5章 ブライダルのエリア特性 第6章 ブライダル業界の1年と集客システム 第1章 見合いと婚約の理解ができる (P45~P57)
10回目	6月26日 第2章 結納、婚約式が理解できる (P58~P68)
11回目	7月3日 前週の小テスト、結納品が理解できる 第3章 ブライダル準備 第4章 キリスト教式の理解ができる (P69~P75)
12回目	7月10日 第5章 神前式 第6章 仏前式 第7章 人前式の理解ができる (P76~P83)
13回目	8月21日 神前式・仏前式・人前式・キリスト教式のテスト、その後の解説を学び身に付けることができる
14回目	8月28日 期末テスト(コーディネイト検定の告知)
15回目	9月4日 期末テスト、解答と前期の振り返り
準備学習 時間外学習	6/26は結納の授業です。教室の確保と結納品のご準備をお願いします。 (人数が多いため、教室を和室と普通教室の2か所をご用意ください)
評価方法	中間テスト 50% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。これからの2年間のブライダルCD検定、初年度でしっかり基礎を学び合格に結びつけてください
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルコーディネイト検定受験に向けて学びます。 ※実務経験:ブライダル業界28年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在では育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」設立26年							
【到達目標】 2027年1月第3水曜日又は第4水曜日の国家資格検定(3級)に合格できる							

授業計画・内容	
1回目	第5章 ブライダルのエリア特性、ブライダルの基礎 第1章 見合いと婚約
2回目	(5)見合いの進行表 2婚約 3婚約記念品 (P1~P11)
3回目	第2章 結納・婚約式 1結納(前期の振り返り) (P12~P17)
4回目	結納品の小テストで理解することができる 第3章 ブライダル準備 (P17~P26)
5回目	第4章 キリスト教式、カトリック式
6回目	キリスト教式の小テストで理解することができる 第5章 神前式 (P34~P39)
7回目	神前式の小テスト、中間テストの告知 (P40~P44)
8回目	中間テスト、解答の理解ができる
9回目	第9章 披露宴 第10章 海外ウエディングと新婚旅行 第11章
10回目	Lesson4 コーディネーター業務 第2章 新規業務 (P58~P68)
11回目	婚礼見積書(ゲストハウス・専門式場・ホテル・レストラン) (P69~P75)
12回目	婚礼見積書(ゲストハウス・専門式場・ホテル・レストラン) (P76~P83)
13回目	期末テスト告知
14回目	期末テスト
15回目	後期授業の振り返り
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	中間テスト 50% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	2年間のテキストを学び理解を深め、次年度の検定合格を目指してほしいです
【使用教科書・教材・参考書】 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Presentation to mark the current year's study	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。</p> <p>【授業内容】 ・産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに取り組むことで、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。 ・チームでイベントを企画運営することを通して、コミュニケーション力や組織内での育成力を身に付けることができるような授業を実施します。</p>							
<p>【到達目標】 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。 主体的にプロジェクトに取り組み、チームで目標を達成する。 礼儀と責任感を持ってお客様・学生同士で関わるようになる SNS等を使用した集客に関する方法を学び、実践に移すことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
第1回	前撮り当日
第2回	前撮り当日
第3回	進級制作展準備期間
第4回	進級制作展準備期間
第5回	進級制作展準備期間
第6回	進級制作展準備期間
第7回	進級制作展準備期間
第8回	進級制作展準備期間
第9回	進級制作展準備期間
第10回	進級制作展準備期間
第11回	進級制作展準備期間
第12回	進級制作展当日
第13回	進級制作展当日
第14回	進級制作展当日
第15回	進級制作展当日
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率含む授業態度70%、最終レポート30%(ゲーグルフォーム)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にいきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宇佐美 敏子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
本格的に始まる就職活動を自走できるようになるための準備をします。

※実務経験: 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)ノホテルにプランナーとして1年勤務ノ結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務
BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる)
現在は講師業、結婚式場にてサービスマネージャー、プランナーとしてブライダル業界に携わる。業界経験19年。

【到達目標】

- ・グループディスカッションができるようになる
- ・自己PR、志望動機をかけるようになる
- ・就職活動を行う時のマナーが身につく
- ・志望動機、自己PRがかかるようになる
- ・グループディスカッションを実践することができるようになる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(授業内容と目的について・成績評価説明・他己紹介)・アプリダウンロードの確認
2回目	企業見学へ行くためのマナーについて学ぶことができる(就職活動に関するアンケート実施)
3回目	就職活動成功のポイントについてチームでワークをし目標を立てる事ができる
4回目	就職活動を行う時のマナーを身につける事ができなぜそれが必要なかを理解し実践できるようになる(身だしなみについてなど)
5回目	企業見学に向けてのマナーを身につける/心構え/準備
6回目	企業見学で感じたことなどをまとめ、次回にどのように活かす事ができるかを学ぶことができる・メールの送り方について
7回目	何故面接対策が必要なのかという事を理解できる/なぜなぜ分析をする
8回目	企業研究のやり方を理解でき就きたい業界を定める事ができる
9回目	履歴書の書き方を理解することができ自己PRや志望動機まで書くことができるようになる
10回目	グループディスカッションの出題テーマの傾向、流れ、仕組みを理解することができる
11回目	グループディスカッションを実践することができる
12回目	①グループディスカッション
13回目	②グループディスカッション
14回目	★評価週 期末テスト:グループディスカッション
15回目	★まとめ・追試/再試 期末テスト:グループディスカッション
準備学習 時間外学習	マイナビ・リクナビのアプリを事前にダウンロードしておいてください
評価方法	・実技試験70% ・提出物30%
受講生への メッセージ	3年生の年末に自己PRや志望動機考えていたいですか? 卒業式の時まで考えていたいですか? みんな一緒に笑って卒業するために、今、この瞬間から就職活動を頑張り、 3年生夏休みの間までに内定をもらい、学生最後の長期休暇(冬休み)を心おきなく楽しむために今頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座 Work seminar	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宇佐美 敏子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 前期で学んだことを復習し改めて実践していくことで自分事と捉えることができ、就職活動の大変さ、大切さを理解してもらいます。 後期では実践あるのみで、実技をメインにおこないます							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)／ホテルにプランナーとして1年勤務／結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 業界経験18年							
【到達目標】 ・自己PR、志望動機を作成することができる ・自身の現状を把握し職種、受験企業を決定する ・選考に関しての自身のウィークポイントを理解し対策を練ることができる ・履歴書、自己PR、志望動機を完成させ面接に臨むことができる							

授業計画・内容	
1回目	授業内容と目的について・成績評価説明・卒業生講話に向けての質問内容を考える
2回目	卒業生講話(就職活動の為にやった事・学生の間(今のうち)にやっておいた方が良い事など)
3回目	①志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
4回目	②志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
5回目	オンライン面接について理解することができる
6回目	①対面面接の基礎知識(成功ポイント、NGポイント)について理解することができる
7回目	②対面面接の基礎知識(成功ポイント、NGポイント)について理解することができる ※身だしなみチェック実施
8回目	面接官の目線になり面接のポイントを理解することができる(面接練習含む)
9回目	模擬面接
10回目	模擬面接のフィードバックと振り返り
11回目	SPI・一般常識問題について
12回目	職業講話
13回目	模擬面接について
14回目	期末テスト
15回目	フィードバック・就職活動に向けて
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト50%・模擬面接50%
受講生へのメッセージ	いよいよ始まる就職活動! 心折れずに内定をもらえるまでみんなで一緒に頑張ってください!
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
授業ではまずは非言語分野、言語分野の解法説明を行い、説明後に非言語分野、言語分野の問題を解いていきます。							
※実務経験							
【到達目標】							
一般企業の就職試験で出題される筆記試験(SPI、適正検査等)の問題を合格レベルで解くことが出来る。							

授業計画・内容	
第1回	SPI3能力適性検査【非言語分野(濃度①②)】【言語分野(同意語・反意語)】
第2回	SPI3能力適性検査【非言語分野(速さ・距離・時間①)】【言語分野(同意語・反意語)】
第3回	SPI3能力適性検査【非言語分野(速さ・距離・時間②)】【言語分野(2語の関係)】
第4回	SPI3能力適性検査【非言語分野(速さ・距離・時間③)】【言語分野(2語の関係)】
第5回	SPI3能力適性検査【非言語分野(ものの値段と個数)】【言語分野(2語の関係)】
第6回	SPI3能力適性検査【非言語分野(定価・原価・利益)】【言語分野(2語の関係)】
第7回	SPI3能力適性検査【非言語分野(割合と値段)】【言語分野(文法)】
第8回	SPI3能力適性検査【非言語分野(仕事算)】【言語分野(文法)】
第9回	SPI3能力適性検査【非言語分野(表・資料の読み取り)】【言語分野(敬語)】
第10回	SPI3能力適性検査【非言語分野(順列・組み合わせ)】【言語分野(敬語)】
第11回	SPI3能力適性検査【非言語分野(確率のとらえ方)】【言語分野(長文問題)】
第12回	SPI3能力適性検査【非言語分野(集合)】【言語分野(長文問題)】
第13回	SPI3能力適性検査【非言語分野(推論)】【言語分野(長文問題)】
第14回	後期試験
第15回	まとめ・総評
準備学習 時間外学習	授業で解いた非言語分野・言語分野の問題の解き直しを行って下さい。
評価方法	定期テスト100%(筆記試験)
受講生への メッセージ	就職試験では必ずと言っていいほどSPI等の適正試験があります。それもほとんど1次試験で実施されます。皆さんが2次試験、3次試験に進むためには、まずは1次試験を突破しないといけません。ぜひ、2次試験、3次試験に進めるよう授業内で解いた問題の解き直しを行って下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
SPI 問題集 2024年度版 図解&書き込み式	

科目名 (英)	韓国語文化 Korean Language	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	金 有里
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>韓国語の基礎を理解してもらい、その上で今後就職後に使える韓国語の習得。筆記よりも会話やスピーキングを強化し、即戦力になるような内容に。様々なシチュエーションで分け、そのシチュエーションにあった単語や文章をできるようにリアルな演出での授業を心がける。また、韓国語文化では外せないk-popもうまく取り入れ、生徒たちが難しいと頭を抱えないようにエンタメも交えた楽しい授業を行う。</p> <p>※実務経験：2015年からラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>韓国語を話す事にまずは慣れる。特に接客で使える基本的な韓国語をマスターする。マニュアルに沿った接客は完璧に出来るレベルを目指す。</p>							

授業計画・内容		
1回目	韓国語、ハングルの歴史についてと韓国語を発してみよう！名前やハングルを書いてみよう。	
2回目	韓国語の基礎を学ぼう！母音と子音 K-popソング	
3回目	韓国語の基礎を学ぼう！複合母音と子音の激音と濃音 k-popソング	
4回目	自己紹介と、初対面で使える会話	
5回目	プライダルの専門用語 その1 その単語を使った文章や会話	
6回目	プライダルの専門用語 その2 その単語を使った文章や会話	
7回目	日本と韓国の結婚式の違い。結婚式での司会の1部分をやってみよう	
8回目	結婚式での色んなシチュエーションで使える韓国語	
9回目	結婚式で使われるK-popソング歌ってみよう 1	
10回目	結婚式で使われるK-popソング歌ってみよう 2	
11回目	結婚式までの打ち合わせに使える韓国語で会話してみよう 1	
12回目	結婚式までの打ち合わせに使える韓国語で会話してみよう 2	
13回目	テストの準備	
14回目	★評価週	今までのまとめ筆記テスト、自己紹介(面接)
15回目	★まとめ・追試/再試	テストの追試と時間があればk-popソング
準備学習 時間外学習	授業の復習	
評価方法	授業態度、参加意欲など 40% 期末試験 60%	
受講生への メッセージ	日本語と韓国語は似てます！特に専門用語は漢字で書かれてあるのは漢字読みで特に似てます！発音は難しいところもありますが、わからないときは細かい部分でも手を挙げて質問してください！！言語は少しの疑問が上達しない大きな原因だったりします。でも、慣れたらそんなに難しいことはありません！最初はなんでも難しいけど、大事なのは興味を持ってくれることです！興味は大きな上達の1歩！！わたしもみんなが興味をもってくれるように頑張りますので、みんなも気楽に構えて楽しく授業参加してもらえたらうれしいです！！	
【使用教科書・教材・参考書】		
基本的にオリジナルでやっていますが、たまに使うことになるのはこちら→「基礎から学ぶ韓国語講座初級」		

科目名 (英)	ヘアメイク演習 Hair make exercise	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	織田 純子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
ヘアアレンジの技術を習得して、業界に必要な基礎力、ヘアアレンジ力を身につけます。

※実務経験:フリーのヘアメイクアーティストとして(20年間)、サロン、舞台、ショー、プライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。また、JMA認定講師としても活動。

【到達目標】
業界で求められるヘアメイクの知識、基本テクニックを習得することができる。

授業計画・内容	
1回目	ヘアアレンジ復習① ビン、ブラシ、ゴム、アイロンの使い方の復習をし、技術を習得できるようになる(ウィッグ使用)
2回目	ヘアアレンジ復習② ビン、ブラシ、ゴム、アイロンの使い方の復習をし、技術を習得できるようになる(相モデル)
3回目	アップスタイル アレンジ① 様々なイメージのアップスタイルを完成できるようになる。
4回目	アップスタイル アレンジ② 様々なイメージのアップスタイルを完成できるようになる。
5回目	ダウンスタイル アレンジ① 様々なイメージのダウンスタイルを完成できるようになる。
6回目	ダウンスタイル アレンジ② 様々なイメージのダウンスタイルを完成できるようになる。
7回目	お色直しを想定したヘアスタイル 2パターンを時間内に作れるようになる(中間テスト練習)
8回目	中間テスト お色直しを想定したヘアスタイル 2パターンを時間内に作れるようになる。
9回目	イメージメイク① 様々なイメージのメイクを仕上げるできるようになる。
10回目	イメージメイク② 様々なイメージのメイクを仕上げるできるようになる。
11回目	お色直しを想定したメイク① 2パターンを時間内に作れるようになる。
12回目	お色直しを想定したメイク② 2パターンを時間内に作れるようになる。
13回目	モデルに似合うイメージでヘアメイクをトータルで仕上げるできるようになる。(定期テスト練習)
14回目	定期テスト(前半) ヘアメイクをトータルで仕上げるできるようになる。
15回目	定期テスト(後半) ヘアメイクをトータルで仕上げるできるようになる。
準備学習 時間外学習	1年生で習得した知識やテクニックを復習して、さらにスキルアップできるように臨むこと。
評価方法	中間テスト50点、定期テスト50点(合計100点満点) 仕上がり、取り組み方、想像力、表現力など総合的に評価します。
受講生への メッセージ	ヘアメイクの授業を通して、イメージを伝えたり、表現する力を養ってほしいと思います。楽しんで取り組んでください。
【使用教科書・教材・参考書】	
初回授業で伝えます。筆記用具を持参してください。	

科目名 (英)	フードビバレッジ I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	村岡 あゆみ / 綾垣 陽子
	Beverage foundation I	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	木曜日1限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>五感と味覚について学び、それぞれの飲み物に合うメニューを考えます。また、料理同士の組み合わせや、調味料や香辛料についても学習していきます。紅茶は、正しい知識を学び、技術を身につけることで、その味や香り等が全く変わります。また、紅茶と言っても、その種類は4,000~5,000種で、産地によって、大きく特徴が異なり、相性のよい食べ物が変わってきます。授業では美味しい飲み方・楽しみ方の知識を深め、現場にも役立つ、実用的な知識の習得します</p> <p>※実務経験: 村岡あゆみ: 病院にて管理栄養士として10年勤務。現在、料理代行、洋菓子開発、飲食店メニュー提案、子供向け料理教室を行う。 綾垣陽子: 1996年より福岡・佐賀を中心にテレビ、ラジオの番組のMC・リポーターとして活動。複数の料理番組や中継コーナーを担当。2000年から4年間JAふくおか八女の提供番組のメンバーソナチエを担当し、種まきから収穫・加工品の製造・新商品開発などに参加。 結婚式場やお料理教室、カフェなどのシーズン毎のメニュー選定、テーブルコーディネイトに携わる。 2019年紅茶アドバイザーの資格を取得し、講師として、企業で講義やイベントを開催。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>五感や味覚について知ることができる 飲み物の種類を知ることができる 料理と飲み物の組み合わせを考えることができる 紅茶の基礎を講義と実習で学びます <具体的な目標>①美味しい紅茶の淹れ方を身につける ②おもてなし力をつける(コーディネイトや小物の使い方)</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(自己紹介、授業内容、評価について)
2回目	五感について知ることができる
3回目	世界の食文化と食物アレルギーについて、理解をすることができる
4回目	日本茶の種類について学び、合うメニューを考えることができる
5回目	中国茶の種類について学び、合うメニューを考えることができる
6回目	コーヒーについて学び、合うメニューを考えることができる
7回目	ソフトドリンクの種類について学び、合うメニューを考えることができる
8回目	調味料や香辛料について学び、合う飲み物を考えることができる。
9回目	料理同士の組み合わせを考えることができる
10回目	飲み物同士の組み合わせを考えることができる
11回目	まとめ
12回目	評価試験
13回目	紅茶の基礎知識 ホットティーの淹れ方(綾垣)
14回目	アイスティー・ミルクティーの基礎と淹れ方(綾垣)
15回目	アフタヌーンティーの歴史・マナー(綾垣)
準備学習 時間外学習	期末テスト100%(筆記試験)
評価方法	
受講生への メッセージ	身近な食べ物や飲み物の組み合わせを実践しながら、考えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フード&ビバレッジⅡ Food&BeverageⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】 様々な食材・素材に関する知識(栽培法・種類・特徴等)を学び、食材について研究する。実際に食材に触れて、試食し学ぶ。 ※実務経験:2014年～2022年まで現場でパティシエとして勤務、製造責任者、接客なども経験</p>							
<p>【到達目標】 <具体的な目標> 素材や食材について学び、次年度の実習授業に活かせるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ベリー (いちご、ラズベリー、ブルーベリー等) ※食材の食べ比べ ショートケーキ
2回目	チョコレート ※チョコレートの違い・作り方・色々なチョコレートの食べ比べ
3回目	洋菓・和菓について ※栗の甘露煮、渋皮煮、ペースト、食べ比べ (モンブラン)
4回目	卵について ※卵の違い プリンにして食べ比べ
5回目	砂糖について ※砂糖の種類違い作り方 砂糖の有なしで感じる味覚
6回目	リキュールについて ※リキュールの違い作り方 生クリームに混ぜての試食
7回目	ピューレについて ※ピューレとは、製造方法、同じものでも製造元で違う味
8回目	チーズについて ※チーズの歴史と違い 珍しいチーズの食べ比べ(ウォッシュチーズ・ブルーチーズ)
9回目	小麦粉(国産小麦・外麦の違い) ※小麦の違い色々な粉で作るスポンジ生地食べ比べ
10回目	バター・マーガリン・植物油脂について ※バターとマーガリンの違い、その種類作り方、食べ比べ
11回目	植物油脂・動物油脂(生クリーム)について ※生クリームの違い種類、各乳脂肪分の食べ比べ
12回目	ゲル化剤について ※ゼラチンなどの凝固剤で固まり方の違いをゼリーで食べ比べ
13回目	塩について テスト対策 ※塩の違い作り方 テスト対策
14回目	転化糖とB.P.Iについて テスト ※テスト 転化糖とB.P.Iについて、パウンドケーキで実験
15回目	ハーブ・スパイス・ミント・セルフィュー・シナモン テスト振り返り ※テスト振り返り スパイス・ハーブを知る クラフトコーラ作り
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト:90% 授業内評価:10%
受講生への メッセージ	素材一つ一つに興味を持ち、素材を学ぶ事で、各業界で役立ててください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 メモが出来るものを用意して下さい。</p>	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務

【到達目標】
レストラン技能検定に全員合格することができる。

授業計画・内容	
1回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び、宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
2回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・歩行動作・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(予約・解約・料理、食器等の異常・一般的な救護方法)を学び理解する事ができる
6回目	課題の抽出と克服
7回目	レストランサービスの内容(国際習慣・プロトコルの5原則・席次、序列・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる
8回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
9回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
10回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
11回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
12回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
13回目	実技試験対策
14回目	評価週 実技試験対策
15回目	実技試験対策
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】
西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定/レストランマネジメント Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務

【到達目標】
レストラン技能検定に全員合格することができる。

授業計画・内容	
1回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
2回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
3回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
4回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
5回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
6回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
7回目	課題の抽出と克服
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
11回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来るようになる
12回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来るようになる
13回目	実技試験対策
14回目	評価週 実技試験対策
15回目	実技試験対策
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】
西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	映像制作・SNS Movie and SNS	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	蒲原 勇
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>①動画作成に関する知識と経験 ②SNSリテラシーと分析 SNSで情報を受け取るだけでなく、自ら発信する力と根拠を身に着けることができます。</p> <p>※実務経験: 映像クリエイターとして12年会社勤務の後、独立起業。現在プライダグ/プロモーション映像の作成を主な事業として行っている。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①映像制作のフローを学び、PR意図のある映像制作を作成することができる。 ②ターゲットを意識したSNS発信を行うことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	■自己紹介、授業の目的:作成した映像などを見てもらう。実際に動画編集アプリに触れ操作の基本を身に着ける
2回目	■動画作成(序盤):自身で動画のコンセプトを決め撮影・編集ができるようになる。作品フィードバック
3回目	■SNS動画概論: SNS動画の現状と重要性を理解し、説明ができるようになる
4回目	■動画作成の流れ:動画作成のフローを理解し、説明ができるようになる
5回目	■AIの活用と企画書の作成: AIを使用した企画書の作成ができるようになる
6回目	■プレゼンテーション①:企画書を通して、相手に制作意図を伝える事ができるようになる。企画書フィードバック
7回目	■動画作成(中盤):企画書を基にした動画作成ができるようになる。作品フィードバック
8回目	■撮影の基本と応用:撮影の基本や応用の知識を理解し、説明ができるようになる
9回目	■編集の基本と応用:編集の基本や応用の知識を理解し、説明ができるようになる
10回目	■炎上対策とコミュニケーション:炎上事例研究、コメント・DM対応を実践できるようになる
11回目	■投稿最適化と効果測定:インサイト分析を理解し、投稿時間・頻度・ハッシュタグなどを応用できるようになる
12回目	■グループによる企画立案と構成:
13回目	■プレゼンテーション②:企画書を通して、相手に制作意図を伝える事ができるようになる。ディスカッションによるブラッシュアップ
14回目	■動画作成(終盤):企画書を基にした動画作成ができるようになる。
15回目	■完成動画発表、相互評価・フィードバック、質疑応答、総評
準備学習 時間外学習	
評価方法	<p>【個人評価】</p> <p>①実技試験 30%:動画作成(中盤)・・・動画作成評価 ②筆記試験 40%:SNSリテラシーとインサイト分析の理解</p> <p>【グループ評価】</p> <p>③実技試験 30%:動画作成(終盤)・・・動画作成評価</p>
受講生への メッセージ	SNSをはじめ様々なプラットフォームで動画を見る機会が増えました。 SNSの正しい知識や写真・動画の効果的な撮影方法/発信方法を知る事はこれからの学生生活や社会人生活を迎える上で必要な知識となります。 一緒に楽しみながら動画の作成を覚えていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SNS応用	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	SNS Operations	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) WEBマーケティングの基礎を理解し、顧客の認知から購買の流れを学習する。</p> <p>※実務経験: IKK株式会社にてウェディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウェディングプランナー兼 業務委託でライフローラ株式会社のウェディングプランナーを担当中。また、WEBマーケティングについての講義実績も有る。</p>							
<p>【到達目標】 WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、今後の流れ、WEBマーケティングについての知識を身に付けることができる
2回目	WEBマーケティングのターゲット、ペルソナ設定について理解することができる
3回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる①
4回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる②
5回目	ブランディングについて理解することができる①
6回目	ブランディングについて理解することができる②
7回目	流入経路について理解することができる(ホテルOTA)
8回目	流入経路について理解することができる(エアラインなど)
9回目	流入経路について理解することができる(ゼクシィ)
10回目	WEBマーケティングの必要性、目的について理解することができる
11回目	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
12回目	SNSマーケティングの概要
13回目	Instagramのアカウント運用
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点30%、期末試験70%
受講生へのメッセージ	はじめまして。 ブランディングの重要性を知り、WEBマーケティングを理解して、役に立てるように頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	トレンド知識 / ドレスソーイング・メンテナンス Trend Knowledge / Dress sewing and maintenance	必修 選択	必修	年次	1・2・3	担当教員	久保 康代
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ファッション、ブランド、トレンドの基礎を学びます。 ※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チエカチエカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 ファッション、ブランド、トレンドの基礎を学び、自身のファッションコーディネーターに取り入れることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介
2回目	ハイブランド～ファストブランドの位置付け、ブランド勢力図について説明出来るようになる
3回目	ブランドの歴史とメットガラについて説明出来るようになる
4回目	映画鑑賞
5回目	2025メットガラについてレポート発表することができる。
6回目	トレンドカラーおよび2025SSファッショントレンドについて説明することができる
7回目	パーソナルカラー診断ができるようになる①
8回目	”②
9回目	”③
10回目	骨格診断ができるようになる①
11回目	”② (1、2年オフィカジコーデ作成、3年サロンワーク練習)
12回目	グループワーク 1～3年MIX モデルに合うコーディネート提案ができるようになる①
13回目	”②
14回目	評価週 1年GWプレゼン 2年ドレーピング実技 3年サロンワーク
15回目	まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	評価週レポート提出80% 平常点20%
受講生への メッセージ	ブランドの歴史やトレンド、ファッションについて楽しく学美、技術を磨いていきましょう。 宜しくお願い致します！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント配布	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルコーディネイト検定受験に向けて学びます。							
※実務経験:ブライダル業界28年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」設立26年							
【到達目標】 ・2026年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる (2026年1月 第4水曜日予定)							

授業計画・内容	
1回目	4月15日 前年度の振り返りと小テスト(決意表明をし今後の取り組みに意識を持たせる)
2回目	4月22日 第3章 ブライダルセールスの特徴 第4章 ホスピタリティ営業 第5章 プランニング (P107～P112)
3回目	5月13日 第6章 プレゼンテーションの手法 第7章 新規アフターフォロー 第8章 成約業務 (P113～P118)
4回目	5月20日 第9章 ペーパーワーク、打ち合わせ業務 1章、2章、3章、4章 (P119～P128)
5回目	5月27日 コンceptシートに基づいたブライダルアイテムの提案 第1章 コーディネート 第2章 衣装選定 (P130～P138)
6回目	6月3日 3.花婿の洋装と洋装小物 4.和装の基本、中間テストの告知
7回目	6月10日 前週の衣装のまとめが理解できる
8回目	6月17日 中間テスト 解答と解説が理解できる
9回目	6月24日 第3章 ブーケ、フラワーアイテムの選定 3.フラワーアイテム 4.会場装花 5.両親への花束 (P148～P153)
10回目	7月1日 前週のブーケのデザイン 小テストが理解できるようになる
11回目	7月8日 第4章 ヘアメイク、ネイルアート 第5章 会場コーディネート 第6章 テーブルコーディネート (P154～P161)
12回目	7月15日 2.テーブルクロスとナプキン 3.4.5 第7章 ペーパーアイテム、ウェルカムアイテム (P161～P166)
13回目	8月26日 第8章 料理、飲料(1.フランス料理 2.日本料理 3.折衷料理 4.イタリア料理 5.中華料理) (P168～P173)
14回目	9月2日 前期の振り返りと期末テスト告知が理解できる
15回目	9月2日 期末テスト 解答と解説の理解ができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	中間テスト 50% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	2年目のコーディネート技能検定の授業ですが、必要な知識を身に付け合格を目指しましょう
【使用教科書・教材・参考書】 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level 3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダルコーディネイト検定受験に向けて学びます。							
※実務経験:ブライダル業界28年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。株式会社ラックに営業職として2年勤務。 その後ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」設立26年							
【到達目標】 ・2026年1月の国家資格検定試験(3級)に合格できる(2026年1月 第4水曜日予定)							

授業計画・内容	
1回目	第5章 会場コーディネイト 第6章 テーブルコーディネイト
2回目	第7章 ペーパーアイテム 第8章 料理・飲物
3回目	第9章 披露宴の基本演出 第10章 披露宴の演出プラン
4回目	第11章 引出物・引菓子 第12章 記録・記念アイテム Lesson7 手配業務
5回目	第2章 衣装・ヘアメイク 第3章 挙式・披露宴
6回目	第4章 引出物・引菓子の手配 第5章 記録・記念アイテム手配
7回目	Lesson8 当日業務 第1章、第2章、第3章
8回目	第4章 テーブルセッティング 第5章、第6章
9回目	過去問筆記によるテスト対策が理解できる(2019年)
10回目	過去問筆記によるテスト対策が理解できる(2020年)
11回目	過去問筆記によるテスト対策が理解できる(2021年)
12回目	過去問筆記によるテスト対策が理解できる(2022年)
13回目	過去問筆記によるテスト対策が理解できる(2023年)
14回目	過去問筆記によるテスト対策が理解できる(2023年、DVD)
15回目	検定試験の解答と振り返りの理解ができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	中間テスト、期末テストは過去問での平均点を評価点とする
受講生への メッセージ	2年間学び集大成の後期授業となります。合格点を目指してください
【使用教科書・教材・参考書】 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Bridal exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>結婚式当日までに流れを理解し、見積り書を作成する。 ウエディングテーマをつくる力を身につける。 流入施策を理解し、SNS活用できる力を身につける。</p> <p>【実務経験】 IKK株式会社にてウエディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウエディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウエディングプランナー兼 業務委託でライブロー株式会社のウエディングプランナーを担当中。</p>							
【到達目標】							
<p>結婚式当日までに流れを理解し、見積り書を作成できるようになる。 ウエディングテーマをつくる力を身につけることができる。 流入施策を理解し、SNS活用できる力を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
第1回	自己紹介、過去の振り返り
第2回	結婚式当日までの打合せ内容を理解することができる
第3回	アイテムごとの価格設定を行い、原価・利益を理解することができる
第4回	見積もりを作成することができる
第5回	ウエディングテーマをつくる力を身につけることができる①(後半は新郎新婦、PL役でヒアリング)
第6回	ウエディングテーマをつくる力を身につけることができる②
第7回	ウエディングパーティープラン作成ができるようになる①(現地視察・打ち合わせ)
第8回	ウエディングパーティープラン作成ができるようになる②(マーケットリサーチ)
第9回	ウエディングパーティープラン作成ができるようになる③(プラン構成→先方確認)
第10回	流入施策の理解(WEB広告、SNSマーケティング、広告)について理解することができる
第11回	Instagramのアカウント運用ができるようになる
第12回	ウエディングパーティープラン作成ができるようになる④(プラン修正→完成)
第13回	ブライダルにおけるSNS活用ができるようになる
第14回	課題提出:ウエディングパーティープランの広告提出
第15回	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題提出:ウエディングパーティープランの広告提出
受講生への メッセージ	みなさん、はじめまして。 今までブライダルの知識について学んできたことを、今度はより実践に近いことを学んで体験して プランナーとして、PRや、ブランディングポジションとしても活躍できるよう一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal exercise	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保 康代
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ディスプレイに関する知識やスキルを身につけます。							
※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チカチカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 ・大空間でのディスプレイを成功させる。 ・オーダードレスショップ形態を知り、知識を深める。							

授業計画・内容	
1回目	ディスプレイ、VMDについて復習し、提案が出来るようになる
2回目	インテリアの基本を学び、配色ができる(塗り絵①基本スタイル)
3回目	”② (塗り絵②色彩心理効果の活用)
4回目	ディスプレイ①あじさい
5回目	”②
6回目	”③
7回目	”④
8回目	ディスプレイ①ひまわり
9回目	”②
10回目	”③
11回目	”④、ドレスショップの種類について説明出来るようになる
12回目	ココメロディ様ショップ訪問
13回目	スタンダードなディスプレイが設置できるようになる
14回目	評価週
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	評価週課題レポート80% 平常点20%
受講生への メッセージ	今期は初めて9階バンケットのディスプレイに挑戦します。 基礎をしっかり復習し、チームワークを大切にしながら取り組みましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント配布	

科目名 (英)	ブライダルアイテム	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保 康代
	Bridal Item	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】ディスプレイについて学びます。また、接客シミュレーションなど、実践形式で取り組んでいきます。							
【実務経験】 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チエカチエカ」にてブライダルスタイリストと、東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。ドレスコーディネーターやファッションコーディネーターの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 接客シミュレーションでは、トーク力や提案力のスキルを向上させます。また、ディスプレイにおいては、技術力とセンスアップを図ります。							
授業計画・内容							
1回目	ディスプレイ ハロウィン①						
2回目	"②						
3回目	"③						
4回目	接客シミュレーション①						
5回目	"②						
6回目	"③ ※カウンセリングからドレス3着まで提案						
7回目	ジュエリーについて						
8回目	ディスプレイ クリスマス①						
9回目	"②						
10回目	"③						
11回目	フォーマル検定対策講座①						
12回目	"②						
13回目	ディスプレイ バレンタイン①						
14回目	"② ※評価週						
15回目	"③						
準備学習 時間外学習							
評価方法	実技試験 80% (新規接客～ドレス3着ご提案) 平常点 20%						
受講生へのメッセージ	ディスプレイをメインに繰り返すことで、さらに技術を磨いていきます。また、接客シミュレーションでは『プロとして』を意識し、今までの知識を使い、上手に提案できるよう頑張らしましょう！どうぞよろしくお願致します。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	スタイリング基礎 styling Knowledge	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【実務経験】
教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。
都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。

【授業内容】
ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい立ち居振る舞いを学びます。
自身の体型や骨格に合わせてコーディネートを考えられるようになる授業を実施します。

【到達目標】
自分自身の体型の特徴を理解することができる。
歩き方や所作などを見直し、ホスピタリティ業界に携わる人材としてふさわしい姿となることで自己肯定感と業界への意識を高めることができる。

授業計画・内容	
第1回	授業の内容・進め方・到達目標について理解することができる。他者に与える自身の「印象」について考えることができる。
第2回	骨格診断セルフチェック：骨格3タイプを知り、自身の骨格を分類することができる。
第3回	実例を元に「オフィスカジュアル」を知ることができる。骨格に合う服装を知ることができる。(普段着・オフィスカジュアル・ドレス・スーツ)
第4回	骨格が乱れることで与える影響について知り、自分でできる骨格の整え方を体験する。 ※動きやすい服装持参
第5回	自身の体の状態を知ったうえで、正しい姿勢で立つこと・座ることについて体験し知ることが出来る。正しい姿勢の状態ですくことを体験する。
第6回	正しい姿勢での歩き方を練習し、身に付けることができるようになる。 ※汗をかいても良い服装・各自制服に合わせたい靴・水分補給できるものを持参。
第7回	今までの復習・中間テスト対策
第8回	中間テスト：筆記試験＋実技試験
第9回	「美しい所作」とは何かを考える。個人ワーク＋グループワークを行い、自身と他者の価値観を知ることができる。
第10回	前週で上がった「美しい所作」を実践し、動きを洗練させることができるようになる。
第11回	実践：正しい姿勢で立つ・歩く・座る・所作に気を遣う 実際の接客シーンをロールプレイングする。 ※進み具合等により変更の可能性あり
第12回	初歩的な行動心理学に触れ、自身の行動に反映させる具体的な方法について考えることができる。
第13回	今までの復習・期末テスト対策
第14回	期末テスト：筆記試験＋実技試験
第15回	試験の答案返却及び授業の振り返り
準備学習 時間外学習	この授業時間以外でも、普段から姿勢や所作を意識した生活を送ってください。
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生へのメッ セージ	少しの所作や姿勢の変化、言動で「印象」は変えられます。皆さんがそれぞれに目指す業種に合わせた印象に近づけるよう講義を行ってまいります。
【使用教科書・教材・参考書】	
授業計画に記載の通り、動きやすい服装や水分補給用の飲み物の準備をお願いする授業があります。前週にアナウンスいたしますが、各自シラバスを確認して準備をしてください。	

科目名 (英)	空間コーディネート演習 space Coordination exercises	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菊池 倫子 / 田中 志麻 / 中村 允宣
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
空間をつくりだす様々なデザインや素材について理解し、テーマに合わせた衣装や小物を用いて空間コーディネートができるように学びます。

※実務経験:
NARD JAPAN認定アロマアドバイザー資格認定校 アロマ&ヘッドスパサロン・スクールSOLEIL 運営(菊池)
Shima's table and flower budounohana主宰。岩田屋本店 IWATAYA講師(田中)

【到達目標】

- ・空間をつくりだすデザインや素材について理解を深めることができる。
- ・テーマに合ったコーディネートやアイデアを考案することができる。
- ・効果的な撮影方法について理解し、実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	4月14日 香り①精油の基礎知識
2回目	4月21日 カメラワーク① 効果的な撮影テクニックを学び、実践する
3回目	5月12日 香り②香が心身に与える影響
4回目	5月19日 香り③精油の伝達経路
5回目	5月26日 カメラワーク② 効果的な撮影テクニックを学び、実践する
6回目	6月2日 香り④アロマブレンドのコツ
7回目	6月9日 香り⑤環境にあった香りの使用例
8回目	6月16日 器・コーディネート① 春の空間コーディネート演習
9回目	6月23日 器・コーディネート② 夏の空間コーディネート演習
10回目	6月30日 カメラワーク③ 効果的な撮影テクニックを学び、実践する
11回目	7月7日 カメラワーク④ 効果的な撮影テクニックを学び、実践する
12回目	7月14日 器・コーディネート③ 秋の空間コーディネート演習
13回目	8月25日 カメラワーク⑤ 効果的な撮影テクニックを学び、実践する
14回目	9月1日 器・コーディネート④冬の空間コーディネート演習
15回目	9月8日 器・コーディネート⑤ /テーブルプレゼンテーション(評価)
準備学習 時間外学習	
評価方法	全体:授業態度 10% 香り:課題 30% カメラワーク:課題 30% 器・コーディネート:課題(プレゼンテーション) 30%
受講生への メッセージ	今回様々な分野について学びます。テーマに合わせたコーディネートや空間づくりができるために知識を身につけましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
タブレット・携帯	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント I Bridal management	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	田中 香利
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1・2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界及びサービス業における、売り上げ・原価・利益などについて学びます。</p> <p>※実務経験:株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として18年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。</p>							
<p>【到達目標】 ブライダル業界及びサービス業における、売り上げ・原価・利益を把握し、様々な業種の数字の成り立ちを理解することが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション ブライダル業務の数字の概要
2回目	ブライダル業界の料金表を作成し、商品ごとの単価を理解することができる
3回目	ブライダル業界の商品売価・原価・利益を作成し、商品ごとの利益率を理解することができる
4回目	テーマを決定し、プラン見積表を作成する。テーマごとの売価・原価・利益率の違いを理解することができる 1
5回目	テーマを決定し、プラン見積表を作成する。テーマごとの売価・原価・利益率の違いを理解することができる 2
6回目	テーマウェディングのPOP作成。集客に必要な要素を理解し、応用することができる。
7回目	サービス業界の例 : 課題設定: 料金表作成 他業種の数字を把握することにより、原価や利益の違いを理解することができる 1
8回目	サービス業界の例 : 課題設定: 料金表作成 他業種の数字を把握することにより、原価や利益の違いを理解することができる 2
9回目	集客POPと販売POPの作成 数字を画像で表現するスキルを身につけることができる 1
10回目	集客POPと販売POPの作成 数字を画像で表現するスキルを身につけることができる 2
11回目	数字の福袋作成 : 様々な商品を組み合わせ、販売価格の設定と原価・利益を検証・分析 販売力の強い商品のアピールポイントを把握することができる
12回目	数字のモデルルーム作成 : 夢を憧れをデジタル化する 販売価格の設定と原価・利益を検証・分析 販売力の強い商品のアピールポイントを把握することができる
13回目	販売用POP作成 プレゼンテーションスキルを身につけることができる
14回目	期末テスト
15回目	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用した制作物 100%
受講生への メッセージ	すべての仕事には【数字】が関わってきます。業務と数字を連動して業務に臨むことができるようスキルアップしましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	ブライダルマネジメントⅡ Bridal management	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【授業内容】 数字への理解と幅広い活用方法を学ぶ ・ インプットからアウトプットへ 要約し伝える力を身につける ※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。							
【到達目標】 ブライダル業界のみならず他業種の商品販売の見積を通じて、数字を使いこなすスキルを身につける 画・発想力を培い想いを商品化できるスキルを身につける インプットからアウトプットへ をすらすらと使いこなせる 要約力と相手に伝える力を身につける							
							企 言葉

授業計画・内容	
第1回	ブライダル業界の見積書の作成 1(ブライダルVer) : 見積書の作成を通じて、販売価格・値引き方法・利益率の組み立て方法を身につけることができる
第2回	ブライダル業界の見積書の作成 1(衣裳・美容Ver) : 見積書の作成を通じて、販売価格・値引き方法・利益率の組み立て方法を身につけることができる
第3回	様々な業種とブライダル業界の見積書の作成 1 利益率の違い : 様々な業種の見積書を作成 数字の成り立ちや業種による利益率の違いを把握することができる
第4回	様々な業種とブライダル業界の見積書の作成 2 利益率の違い : 様々な業種の見積書を作成 数字の成り立ちや業種による利益率の違いを把握することができる
第5回	イベント商品企画 1 : イベント商品に関する必要経費と集客の為の方法を数値化 : コトを起こす際の多岐にわたる必要経費の詳細を身につけることができる
第6回	イベント商品企画 2 : イベント商品に関する必要経費と集客の為の方法を数値化 : コトを起こす際の多岐にわたる必要経費の詳細を身につけることができる
第7回	イベント商品企画 3 : イベント商品に関する必要経費と集客の為の方法を数値化 : コトを起こす際の多岐にわたる必要経費の詳細を身につけることができる
第8回	接客スキルに必要なアウトプット方法 1 : 言葉がおもいつかない まとまらない 伝わらない がなくなる : インプットからアウトプットへ 適切な言葉をおもいつくことができる
第9回	接客スキルに必要なアウトプット方法 2 : 言葉がおもいつかない まとまらない 伝わらない がなくなる : インプットからアウトプットへ 言葉をまとめる力を身につけることができる
第10回	接客スキルに必要なアウトプット方法 3 : 言葉がおもいつかない まとまらない 伝わらない がなくなる : インプットからアウトプットへ 言葉伝える力を身につけることができる
第11回	9割捨てて10割伝える「要約力」1:自己紹介 プレゼンテーション スピーチ 質問 回答 : 生産性・効率化向上の為の要約力を身につけることができる
第12回	9割捨てて10割伝える「要約力」2:自己紹介 プレゼンテーション スピーチ 質問 回答 : 生産性・効率化向上の為の要約力を身につけることができる
第13回	9割捨てて10割伝える「要約力」3:自己紹介 プレゼンテーション スピーチ 質問 回答 : 生産性・効率化向上の為の要約力を身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	前半は数字の理解度を深め、企画力・発想力・具現化する力を身につける講義 後半は言葉のアウトプット力を身につける講義です。就活に有利な講義内容ですのでしっかり身につけていきましょう
PC・USB持参	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration project	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	兒玉 悠太郎 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日4時限

【授業の学習内容】

1年生に向けた新入生歓迎会のイベント企画と、今までに学んだことを生かしたドレスショーを行います。

※実務経験:

兒玉:長崎県ルークプラザホテル(株式会社BP)に10年勤務。新規セールス、ウエディングプランナー、バンケットディレクター、の仕事と兼務。宿泊のカウンター業務やロビーでのゲストリレーションズ、披露宴会場のPAの業務も並行して従事。

高増:大分県ブラッサム大分(JR九州ホテルズアンドリゾーツ)に4年間勤務。フロントや電話での接客対応、ロコミや団体予約等の担当を経験。

【到達目標】

1年次に学んだ知識をもとに、各個人でドレスショーを実施することができるようになる。

主体的に企画立案や準備に取り組み、各仕事の役割を理解し、チームで一つのものをつくりあげることができるようになる。

※会場の場所によっては内容の変更が発生する可能性があります。

授業計画・内容	
1回目	新入生歓迎会の内容検討・スケジュールの確認
2回目	新入生歓迎会の準備
3回目	新入生歓迎会 本番
4回目	ドレスショー企画検討・各個人のコンセプトの構想
5回目	各個人のコンセプト確定・準備物の確認
6回目	ドレスショーのモデルオーディション①
7回目	ドレスショーのモデルオーディション②
8回目	ドレスショー準備
9回目	ドレスショー準備・モデルフィッティング
10回目	ドレスショー準備
11回目	ドレスショー準備
12回目	ドレスショー リハーサル・モデル最終フィッティング
13回目	ドレスショー本番
14回目	模擬披露宴実施日予備日
15回目	プロジェクト全体を通しての振り返りを行い、良かった点と反省点を洗い出し発表する
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、イベント達成度50%(別紙参照)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながら、各個人で計画的に準備ができるようになります。 イベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にしていきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	ブライダルプロジェクト bridal project	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	黒岩 初美 / 児玉 悠太郎 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3時限
【授業の学習内容】 1年生に向けた新入生歓迎会のイベント企画と、今までに学んだことを生かしたドレスショーを行います。 実際の新郎新婦様との契約が取れ次第、その方たちに向けた前撮り提案の内容も組み込んでいく。 ※実務経験:長崎県ルークプラザホテル(株式会社BP)に10年勤務。新規セールス、ウエディングプランナー、パンケットディレクター、の仕事も兼務。宿泊のカウンター業務やロビーでのゲストリレーションズ、披露宴会場のPAの業務も並行して従事。							
【到達目標】 1年次に学んだ知識をもとに、各個人でドレスショーを実施することができるようになる。 主体的に企画立案や準備に取り組み、各仕事の役割を理解し、チームで一つのものをつくりあげることができるようになる。 ※会場の場所によっては内容の変更が発生する可能性があります							

授業計画・内容	
1回目	新入生歓迎会の内容検討・スケジュールの確認
2回目	新入生歓迎会の準備
3回目	新入生歓迎会 本番
4回目	ドレスショー企画検討・各個人のコンセプトの構想
5回目	各個人のコンセプト確定・準備物の確認
6回目	ドレスショーのモデルオーディション①
7回目	ドレスショーのモデルオーディション②
8回目	ドレスショー準備
9回目	ドレスショー準備・モデルフィッティング
10回目	ドレスショー準備
11回目	ドレスショー準備
12回目	ドレスショー リハーサル・モデル最終フィッティング
13回目	ドレスショー本番
14回目	模擬披露宴実施日予備日
15回目	プロジェクト全体を通しての振り返りを行い、良かった点と反省点を洗い出し発表する
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、イベント達成度50%(別紙参照)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながら、各個人で計画的に準備ができるようになります。 イベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にしていきましょう!
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	企業プロジェクト / ブラダプロジェクト Corporate CollaborationProject / Bridal Project	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 ・産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに取り組むことで、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。 ・グループディスカッションや職業講話、自己分析を通して1年半後に「社会人」となる意識を持ち始めるきっかけづくりを行い、就職活動や働くことにポジティブなイメージを持つことができるような授業を実施します。 ・チームでイベントを企画運営/後輩への指導をおこなうことを通して、コミュニケーション力や組織内での育成力を身に付けることができるような授業を実施します。							
【到達目標】 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。 論理的思考を行い、思考の内容を具体化することができるようになる。 礼儀と責任感を持って企業様やお客様と関わることができるようになる							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有/アンケート回答/現在のブライダル業界が抱える課題についてグループディスカッション(4名1グループ)を行い、課題を共有する。
第2回	リアルウェディング前撮りの導入:前撮り指示書の作り方をすることができる①
第3回	リアルウェディング前撮りの導入:前撮り指示書の作り方をすることができる②
第4回	職業講話 株式会社Square Feet 柳勝博様 『モチベーションマネジメント講座』
第5回	前撮り指示書の作成を行う※教室変更可能性あり
第6回	前撮り指示書の作成を行う※教室変更可能性あり
第7回	進級制作展のドレスショー準備①チーム組閣、テーマの共有 /前撮り準備※1年生合同の可能性あり
第8回	進級制作展のドレスショー準備②進捗に合わせた準備 /前撮り準備※1年生合同の可能性あり
第9回	前撮り直前準備
第10回	進級制作展のドレスショー準備③進捗に合わせた準備 ※11月29日はモデルオーディションの可能性あり
第11回	進級制作展のドレスショー準備④進捗に合わせた準備
第12回	進級制作展のドレスショー準備⑤進捗に合わせた準備
第13回	進級制作展のドレスショー準備⑥進捗に合わせた準備
第14回	進級制作展のドレスショー準備⑦進捗に合わせた準備 ※1月17日はヘアメイクリハーサル
第15回	進級制作展のドレスショー準備⑧進捗に合わせた準備 ※1月24日はヘアメイクリハーサル
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率を含む授業態度50%、各イベントの振り返りシート・講話のリアクションシート50%
受講生への メッセージ	今年度、皆さんのテーマは「自立」です。他人任せにせず、自ら考えて行動できる人材になってください。多くのイベントやグループワークを経験し、成功も失敗もしながら成長してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Presentation to mark the current year's study	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。</p> <p>【授業内容】 ・産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに取り組むことで、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。 ・チームでイベントを企画運営することを通して、コミュニケーション力や組織内での育成力を身に付けることができるような授業を実施します。</p>							
<p>【到達目標】 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。 主体的にプロジェクトに取り組み、チームで目標を達成する。 礼儀と責任感を持ってお客様・学生同士で関わるようになる SNS等を使用した集客に関する方法を学び、実践に移すことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
第1回	前撮り当日
第2回	前撮り当日
第3回	進級制作展準備期間
第4回	進級制作展準備期間
第5回	進級制作展準備期間
第6回	進級制作展準備期間
第7回	進級制作展準備期間
第8回	進級制作展準備期間
第9回	進級制作展準備期間
第10回	進級制作展準備期間
第11回	進級制作展準備期間
第12回	進級制作展当日
第13回	進級制作展当日
第14回	進級制作展当日
第15回	進級制作展当日
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率含む授業態度70%、最終レポート30%(ゲーグルフォーム)
受講生への メッセージ	他者と関わり合いながらのイベント運営は互いに学ぶことが多いです。全員が主役です。全てを糧にいきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	バー演習 Bar exercise	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	増田 鉄平
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
ウイスキー・スピリッツ・リキュールやその他日本酒・焼酎などの國酒のお酒を幅広く世界各国知識として学ぶこと、サービスの在り方やカクテル作成などを実習を通してできる。

※実務経験: 大学在学中にインターンシップにてホテルバーの世界へ。その後ホテルバーにて研鑽を積みバーテンダー業界では25年余りとなる中、現在も老舗バーにて九州代表としてカクテルコンペティションへ出場し数々入賞する。(一社)日本ホテルバーメンス協会認定マスターバーテンダー九州では五名ほどしかいない。

【到達目標】
・バーやレストランでの作法や総合飲料取扱者として、提供の仕方や接客方法を身につけられるようにする。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方、授業内容の把握と目標設定。
2回目	【座学】BAR・カクテルについて 【実技】バーテンダーの姿勢、お酒やボトルの扱い方、副材料、氷、グラス、バーツール 等
3回目	【座学】お酒の基礎知識① 【実技】ステア&ビルド 練習 課題 ハイボール、水割り、を作る
4回目	【座学】お酒の基礎知識② 【実技】シェイク 練習 課題ショートカクテルを作る
5回目	【座学】BAR接客について 【実技】接客(来店時、会話、オーダー、メイク、提供、お会計、退店時)& 課題カクテルを作る
6回目	中間テスト対策:バーテンダーとお客さまのグループに分かれて実際BARサービスを想定しトレーニング
7回目	中間テスト:実技 課題カクテル1杯(ジンフィズ)
8回目	中間テストの課題を克服
9回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作① テーマ(プロポーズ時に提供するカクテル①~④で作成する材料等も意見交換する)
10回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作②
11回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作③
12回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作④
13回目	期末試験対策(一人でもカウンターセッティングできるように復習)
14回目	★期末試験 評価週 ※必ずシェイクここまでの授業で習った工程が出来ているか評価
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業に対する教材以外でも出来ることならばどんどんやってみましょう。
評価方法	●期末テスト:オリジナル創作 モクテル1種(ロング・ショート) 課題 1杯(ロング・ショート) 計2杯(予定) 100%(授業態度、身だしなみを含む)
受講生への メッセージ	・飲食業以外でも分からないことなどあれば、気軽に質問してください。少しでも皆様のプラスになるようにして、充実し時間が過ぎていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】	
HBAバーテンダーズマニュアル	

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	兒玉 悠太郎 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
1年後に社会人となる学生に対して、その意識を高めて学生生活を送れるような様々な視点から学びます。
(生活安全、自分の心身を保つことの大切さ、最後の学生生活を送るにあたっての注意点など)

※実務経験:
兒玉:長崎県ルークプラザホテル(株式会社BP)に10年勤務。新規セールス、ウエディングプランナー、バンケットディレクター、の仕事も兼務。宿泊のカウンター業務やロビーでのゲストリレーションズ、披露宴会場のPAの業務も並行して従事。
高増:大分県ブラッサム大分(現JR九州ホテルズアンドリゾーツ)に4年間勤務。フロントや電話での接客対応、口コミや団体予約等の担当を経験。

【到達目標】

- ・自分のペースで就職活動に向けて計画を立てて行動することができる。
- ・自分自身の心身を整えて、就職活動や学生生活を送ることができる。
- ・自分が目指す業界に向けてさらに知識を身につけて、就職活動に活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	4/15 インフォメーション(学校ルールの再確認等)、学生便覧再確認(卒年次であることを意識すること) / 生活安全教育①② ※PC持参
2回目	4/22 生活安全教育③④、GWの過ごし方、次回授業の告知
3回目	5/13 マインドフルネス①「マインドフルネスとは？」 / インフォメーション
4回目	5/20 マインドフルネス②「悩みの正体、マインドフルネス実践法」 / インフォメーション
5回目	5/27 マインドフルネス③「セルフケア、セルフコンパッション」 / インフォメーション
6回目	6/3 マインドフルネス④「自己肯定感とは」 / インフォメーション
7回目	6/10 マインドフルネス⑤「マインドフルネスのまとめ」 / インフォメーション
8回目	6/17 学校イベントや就職活動(企業訪問)に向けて
9回目	6/24 学校イベントや就職活動(企業訪問)に向けて
10回目	7/1 学校イベントや就職活動(企業報訪問)に向けて
11回目	7/8 夏季休暇の目標及び過ごし方(就職活動も含む)
12回目	7/15 夏季休暇の目標及び過ごし方(就職活動も含む)
13回目	8/26 夏季休暇の振り返り、及び評価週に向けて
14回目	9/2 前期を振り返り、残り半年間の学生生活で何をしたいかをプレゼン・発表①
15回目	9/9 前期を振り返り、残り半年間の学生生活で何をしたいかをプレゼン・発表②
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業レポート 30%(マインドフルネスの5回分) プレゼンテーション 70%(14・15回目)
受講生への メッセージ	学生生活最後の1年間がスタートします。学生生活、学校イベント、就職活動、安全に取り組めるように準備をして臨みます。 ひとり一人が意識と責任をもって、学校生活を過ごしましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
配布資料、パソコンを使用する機会がありますので告知します。 ※初回は各自パソコンを手元に準備してください。 マインドフルネスのパートで配布資料があるので、必要な人は各自ファイル等を準備してください。	

科目名 (英)	キャリアプログラム Carrer program	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 自分たちが参加、関わるイベントの準備に取り組みます。自分以外の学生ともしっかりと連携を取りながら楽しく取り組みましょう。 また学生の皆さんに必要な情報を発信、共有する時間としても活用します。</p> <p>※実務経験 2017年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界に必要なチームワークを身につけ実践することができる。 ・状況に応じた態度、発言を実践し、円滑にコミュニケーションを取ることができる。 ・学生生活最後のプロジェクトとして、関わる全ての人が楽しく安全に終えることができる。 							

授業計画・内容	
1回目(9/26)	初回オリエンテーション(今後のスケジュール、授業の流れ、イベント告知) / 麻生先生:HRS実技対策 602教室
2回目(10/3)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど) / 麻生先生:HRS実技対策 602教室
3回目(10/10)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど) / 麻生先生:HRS実技対策 603教室
4回目(10/17)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど) / 麻生先生:HRS実技対策 604教室
5回目(10/24)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど) / 麻生先生:HRS実技対策 605教室
6回目(10/31)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど) / 麻生先生:HRS実技対策 606教室
7回目(11/7)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
8回目(11/14)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
9回目(11/21)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
10回目(11/28)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
11回目(12/5)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
12回目(12/12)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
13回目(12/19)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
14回目(1/16)	プロジェクト準備(学校行事、企業プロジェクト、リアルウェディングなど)
15回目(1/23)	イベントに向けての準備、1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・10月30日(水)HRS検定(実技)に向けて第1回～第6回目までは同時時間帯で対策授業(麻生先生)を行います。 ・1月25日(土)リアルウェディングの参加も授業出席のカウントとします。
評価方法	<p>イベントの話し合いや参加態度 70%(言葉遣い、参加態度、発言等)</p> <p>課題(レポートや発表等) 30%</p>
受講生へのメッセージ	<p>残すところ学生生活も半年間となりました！今回はホテル系、プライダル系の3年生合同で授業を実施します。</p> <p>また、一緒にプロジェクトに取り組んでいきます。</p>
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>・パソコンを使用して作業をする場合があります。(事前に告知します)</p>	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	宇佐美 敏子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
社会へ繰り出す為の準備や社会人として必要なマナーなどの知識を身に付ける。

※実務経験:保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)ノホテルにプランナーとして1年勤務ノ結婚式場立ち上げの為プランナーとして2年勤務
BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる)
現在は講師業、結婚式場にてサービスマネージャー、プランナーとしてブライダル業界に携わる。業界経験19年。

【到達目標】

- ・学生と社会人の違いを理解することができる
- ・社会人基礎力を身に付け、将来のキャリアを見据えて自分の強みを活かした進路選択ができるようになる
- ・社会人になる前の準備を身につける事ができる

授業計画・内容	
1回目	就職活動状況の確認(状況に応じて今後の活動を指導または内定者との対談)
2回目	社員とアルバイトとの違いについて理解することができる
3回目	新入社員に求められるビジネスマナーについて学ぶことができる
4回目	新入社員に求められる社内でのビジネスマナーについて学ぶことができる
5回目	就職状況進捗確認
6回目	TO DOリストを理解し作成する事ができる
7回目	テスト対策
8回目	中間テスト
9回目	職場での人間関係構築について学ぶことができる①
10回目	職場での人間関係構築について学ぶことができる②
11回目	グループディスカッション①:テーマ/社会人になるためにどんなことをやっておいた方がいいのか
12回目	グループディスカッション②:チームごとで①のプレゼン
13回目	テスト対策
14回目	評価週 期末テスト:筆記試験
15回目	テスト振り返り/卒業までの過ごし方について考えることができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	・中間テスト、期末テスト 100%
受講生への メッセージ	就職内定が出ている人は社会人になるための準備を!! まだ内定が出ていない人は就活ラストパートです!! 後悔のないようみんな頑張ろう!
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	ビジネスマナー講座	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Bussiness etiquette course	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 今や、ビジネス上で、コーチングスキルは欠かせないと言われています。人に関わる仕事をする上で、接脚において、自分のモチベーションを高めるにおいて、ビジネスマナーと共に、学んでいきましょう。</p> <p>【実務経験】 大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は2,000組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校、短大、大学において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なビジネスマナーが身に付く。 ・コーチングに至るまでの基本的な心理学ツールが理解できる。 ・上記のスキルで他者援助、自分のモチベーションアップができるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	特別講義
2回目	オリエンテーション コーチングとは何か？歴史と概要が理解できる
3回目	コーチングの役割とスキル 基本的なスキルについて知ることができる
4回目	コーチングのプロセス ゴール設定、行動計画の立案ができるようになる
5回目	実践的なコーチング技法の紹介 GROWモデル SMART目標設定などが理解できる
6回目	コーチングにおけるコミュニケーション 非言語の重要性を理解し、アクティブリスニングの実践ができる
7回目	エンパワーメントとモチベーション 強みを発見し、モチベーションを引き出すことができる
8回目	効果的なフィードバック ポジティブな改善点の指摘ができるようになる
9回目	ケーススタディ グループでのディスカッションで実践が経験できる
10回目	コーチングとリーダーシップ コーチングとリーダーシップの融合が理解できる
11回目	コーチングの応用 ストレスマネジメント等への応用ができるようになる
12回目	セルフコーチングについて 自己理解、目標設定へ自己フィードバックができるようになる
13回目	セルフコーチングの実践 自己分析、目標達成のための行動計画ができるようになる
14回目	セルフコーチングの継続 セルフコーチングを日常に取り入れられるようになる
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生へのメッセージ	コーチングは、理論やスキルを理解できると、モチベーションを上げるために、他者はもちろん、自分への活用も可能です。就職もそうですが、仕事も、つねに目標掲げて達成に向けての実践が必要です。しかし、時には思い通りにいかないこともあるでしょう。その際に、コーチングを活用して、イキイキと自分の人生を生きられることをイメージして、毎回の授業を楽しく学んでいきましょ。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>都度、資料を配布します。</p>	

科目名 (英)	ICT・AI基礎 ICT.AI	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	増田 綾香
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解する。
業務効率化をはかるためチャットGPTの活用ができるようになること。

※実務経験:IKK株式会社にてウェディングプランナー／営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務。
2023年3月より個人事業主としてフリープランナーとして結婚式に関わるすべてをプロデュース。また、WEBマーケティングについての講義実績もある

【到達目標】
WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解することができる
業務効率化をはかるためチャットGPTの活用ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	今後の流れ、WEBマーケティングについての知識を身に付けることができる
2回目	WEBマーケティングのターゲット、ペルソナ設定について理解することができる
3回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる①
4回目	ブランディングについて理解することができる①
5回目	ブランディングについて理解することができる②
6回目	ブランディングについて理解することができる③
7回目	流入経路について理解することができる(ゼクシィ)
8回目	WEBマーケティングの必要性、目的について理解することができる
9回目	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
10回目	SNSマーケティングの概要
11回目	Instagramのアカウント運用
12回目	プライダルフエアの企画を考える①(目的・コンセプト)
13回目	プライダルフエアの企画を考える(内容・ターゲット)
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	評価テスト100%
受講生への メッセージ	遠いようで身近にあるWEBマーケティングを理解し、プレイヤーとしてだけでなく、運営側としても活躍できる基礎を身につけましょう またチャットGPTを使用し、業務スピードや効率化をはかるための活用方法を学びましょう よろしく願いいたします
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT・AIビジネス ICT・AI Bussiness	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) WEBマーケティングの基礎を理解し、顧客の認知から購買の流れを学習する。</p> <p>※実務経験: IKK株式会社にてウェディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウェディングプランナー兼 業務委託でライフローラ株式会社のウェディングプランナーを担当中。また、WEBマーケティングについての講義実績も有る。</p>							
<p>【到達目標】 WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、今後の流れ、WEBマーケティングについての知識を身に付けることができる
2回目	WEBマーケティングのターゲット、ペルソナ設定について理解することができる
3回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる①
4回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる②
5回目	ブランディングについて理解することができる①
6回目	ブランディングについて理解することができる②
7回目	流入経路について理解することができる(ホテルOTA)
8回目	流入経路について理解することができる(エアラインなど)
9回目	流入経路について理解することができる(ゼクシィ)
10回目	WEBマーケティングの必要性、目的について理解することができる
11回目	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
12回目	SNSマーケティングの概要
13回目	Instagramのアカウント運用
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点30%、期末試験70%
受講生へのメッセージ	はじめまして。 ブランディングの重要性を知り、WEBマーケティングを理解して、役に立てるように頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	手話 Sign language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	上田 直子 / 村上 奈緒美
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってのコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。

※実務経験:福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある。

【到達目標】

- ・手話で自己紹介を表現することができる
- ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる
- ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる

授業計画・内容	
1回目	講義「ろう者の生活」
2回目	数、指文字の学習①
3回目	数、指文字の学習②
4回目	①あいさつ 自己紹介、他己紹介の会話文で表現することができる
5回目	②家族 単語と会話文で表現することができる
6回目	③趣味 単語と会話文で表現することができる
7回目	④料理、買い物 単語と会話文で表現することができる
8回目	⑤病院 単語と会話文で表現することができる
9回目	⑥交通 単語と会話文で表現することができる
10回目	⑦学校 単語と会話文で表現することができる
11回目	⑧仕事 単語と会話文で表現することができる
12回目	⑨天気、自然 単語と会話文で表現することができる
13回目	⑩国名、季節、曜日、イベント 単語と会話文で表現することができる
14回目	試験
15回目	手話スピーチ 感想文
準備学習 時間外学習	・復習をしてください
評価方法	・出席率 40% ・筆記試験 30% ・手話の読み取り試験 30%
受講生への メッセージ	・手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

テキストなし、プリントなど対応

科目名 (英)	手話 Sign language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
【到達目標】 ・手話で自己紹介を表現することができる ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる							

授業計画・内容	
1回目	手話検定模擬試験
2回目	手話検定模擬試験
3回目	手話検定模擬試験
4回目	①あいさつ 自己紹介、他己紹介の会話文で表現することができる
5回目	②家族 単語と会話文で表現することができる
6回目	③趣味 単語と会話文で表現することができる
7回目	④料理、買い物 単語と会話文で表現することができる
8回目	⑤病院 単語と会話文で表現することができる
9回目	⑥交通 単語と会話文で表現することができる
10回目	⑦学校 単語と会話文で表現することができる
11回目	⑧仕事 単語と会話文で表現することができる
12回目	⑨天気、自然 単語と会話文で表現することができる
13回目	⑩国名、季節、曜日、イベント 単語と会話文で表現することができる
14回目	試験
15回目	手話スピーチ 感想文
準備学習 時間外学習	・復習をしてください
評価方法	・出席率で40% ・筆記試験で30% ・手話の読み取り試験で30%
受講生へのメッセージ	・手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】 「DVDで楽しく学べる はじめて出会う手話」	

科目名 (英)	韓国語文化 Korean language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	金 有里
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
韓国語を使った接客ができるよう、様々なシチュエーションを想定して学びます。

※実務経験:2015年からラジオ局LOVE FMにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。

【到達目標】

- 韓国語を使ってコミュニケーションをとることができる。
- 自身の生活や卒業後に活かせる韓国語を身につける。

授業計画・内容	
1回目	今までの復習、パッチム1
2回目	パッチム2、ハングル読み方練習
3回目	数え数字の勉強 100までの読み方と単位別
4回目	曜日、月、年、時間など
5回目	曜日、月、年、時間などを使って会話してみよう
6回目	飲食店での店員とお客さん 単語と会話
7回目	空港でのアナウンス 空港にちなんだ単語
8回目	空港チェックイン 単語と会話
9回目	道案内してみよう！ マップを使い、道案内
10回目	ショッピングでの店員とお客さん 単語、会話
11回目	ホテルでの店員とお客さん 単語と会話
12回目	テスト準備 筆記 まとめ
13回目	テスト準備 会話 まとめ
14回目	期末テスト
15回目	再試、テストのおさらい、夏休みに使える会話
準備学習 時間外学習	復習、テスト勉強
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	去年度は、急ぎ足で教えたところが沢山ありましたが、ちゃんとついてきてくれたので今期は少し細かく押してつつ今よりスキルアップ出来るように一緒に楽しく頑張りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	和装知識 kimono knowledge	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	馬渡 泰子
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となれるよう、お客様の大切なお着物の扱い方、接客において着物に関する知識を身に付けることができる。

※実務経験:ホテル勤務11年中、7年の営業部婚礼課所属。新規セールス1年、ウエディングプランナーとして6年で約480組の婚礼のプランニング。専門学校5年勤務にて、ブライダルコースの座学(ブライダルコーディネーター技能検定3級対策)、実技(ウエディングプランニング)を担当。2021年より長沼静着物学院にて着付けを学び2023年10月着付け師1級合格。2024年1月より着付け師として活動している。

【到達目標】

- 日本の伝統文化について教養を身に付ける。
- 着物や和装小物の扱い方を学び、浴衣を使って自装と他装の基礎を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	導入 着物について、貸衣装スタッフ、着付け師について学ぶ。(業界の現状を理解することができる)
2回目	〈座学〉着物の歴史 (時代と着物の変化を知ることができる)
3回目	〈座学〉着物の種類 (普段着から礼装用まで、様々な着物の種類を知り、TPOに合わせた着物を選ぶことができる)
4回目	〈座学〉下着、長襦袢、実用小物について 〈実技〉長襦袢のたたみ方を学ぶ (下着、長襦袢、実用小物を扱うことができる)
5回目	〈座学〉着物の名称 〈実技〉長襦袢のたたみ方の復習 着物のたたみ方を学ぶ(着物の名称を覚え、着物を扱う際に使う言葉が理解できるようになる)
6回目	〈座学〉着物に合わせる小物と帯の名称 〈実技〉帯のたたみ方、小物の直し方を学ぶ(帯の種類を覚え、着物と合わせるようになる)
7回目	〈実技〉浴衣の自装 (浴衣の着方を覚える)
8回目	〈実技〉浴衣の自装 (浴衣を着られるようになる)
9回目	〈実技テストⅠ〉浴衣の自装
10回目	〈実技〉浴衣の他装 (浴衣の着せ方を覚える)
11回目	〈実技〉浴衣の他装 (浴衣を他人に着せられるようになる)
12回目	〈実技テストⅡ〉浴衣の他装
13回目	〈座学〉染めと織りについて 着物の模様について (染めの着物と織の着物、模様を学び、お客様の衣裳選びの一助となる知識を得ることができる)
14回目	評価 筆記試験
15回目	まとめ 〈実技〉浴衣の自装、着物のマナーと着崩れの対処 (浴衣を着たときの所作を美しく、自分で着崩れを直すことができる)
準備学習 時間外学習	配布プリントをファイルし、各自復習をしておくこと。 浴衣の着方、着付けの練習をしておくこと。
評価方法	自装・他装実技チェックテスト(40%) 筆記試験(60%)
受講生への メッセージ	着物を通して日本文化を学びましょう。着物の種類、模様など様々に込められている日本人の精神文化を知り、お客様に着物をおすすめする際や、着付けをする際にも、先人たちから受け継いだ想いを伝えられるプロのスタッフになってください。 訪日外国人はこれからますます増えてきます。グローバルに活躍できるよう、自国の文化を発信できるように学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
きもの教本Ⅰ(長沼静きもの学院)参考	

科目名 (英)	ネイル演習 Nail exercise	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂本 結佳子
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
サロンワークやブライダルネイル、新人研修などの経験があるネイリストが15回の授業を通して基礎的なネイルケア、ポリッシュやジェルネイルの扱い方を学ぶ。スタイリストのトータルコーディネート提案としてのネイルデザインのカウンセリングの為の知識を得る事ができる。ブライダルネイルにも使えるデザインのチップを作成し、撮影、コラージュ作成をする。

※実務経験
5年間にわたり株式会社BRONZE EYEにてネイリストとして勤務。その中でブライダルネイルの施術にも携わる。
その他新人研修にも携わり基礎知識や接客、カウンセリングなどを指導。現在は自宅ネイルサロンを開業。(現在8年目)

【到達目標】

- ・ネイルケアの基礎的な知識と技術を習得する
- ・ブライダルネイルのデザインを学ぶ

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、爪の名称、ブライダルネイルについて、商材説明、シラバス説明 / ネイルチップデザイン決め、ジェルネイル説明、商材購入
2回目	ネイルケアからポリッシュの塗布仕方説明、自分の爪に実践
3回目	ネイルケアからポリッシュ塗布まで相モデルに実践
4回目	ネイルケアからポリッシュ塗布まで相モデルに実践
5回目	ネイルチップ作成
6回目	ネイルチップ作成
7回目	ネイルチップ作成
8回目	ネイルチップ作成
9回目	ネイルチップ作成
10回目	ネイルチップ作成
11回目	ネイルチップ作成
12回目	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
13回目	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
14回目	評価週・コラージュ作成予備
15回目	まとめ・コラージュ作成予備
準備学習 時間外学習	授業で学んだことは授業外でも実践してみましょう。 苦手なことができたならそのままにせずメモなどをして次の授業で消化できるようにしておくことが望ましいです。 最後にブライダルネイルチップ撮影をします。それまでにドレス、ブーケ、ネイル、背景などを考えておいてください。
評価方法	ネイルチップ制作、コラージュ作成 50% 授業態度 50%
受講生への メッセージ	ジェルネイルチップを作成する授業です。 将来ブライダルに関わるお仕事をする際などにブライダルネイルデザインのご提案の仕方やカウンセリング力を身につけて新郎新婦様のお役に立つことができます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ネイル演習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂本 結佳子
	Nail exercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>サロンワークやブライダルネイル、新人研修などの経験があるネイリストが15回の授業を通して基礎的なネイルケア、ポリッシュやジェルネイルの扱い方を学ぶ。スタイリストのトータルコーディネート提案としてのネイルデザインのカウンセリングの為の知識を得る事ができる。ブライダルネイルにも使えるデザインのチップを作成し、撮影、コラージュ作成をする。</p> <p>※実務経験 5年間にわたり株式会社BRONZE EYEにてネイリストとして勤務。その中でブライダルネイルの施術にも携わる。 その他新人研修にも携わり基礎知識や接客、カウンセリングなどを指導。現在は自宅ネイルサロンを開業。(現在6年目)</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルケアの基礎的な知識と技術を習得する ・ブライダルネイルのデザインを学ぶ 							

授業計画・内容	
第1回	前期振り返り
第2回	ネイルチップ作成
第3回	ネイルチップ作成
第4回	ネイルチップ作成
第5回	ネイルチップ作成
第6回	ネイルチップ作成
第7回	ネイルチップ作成
第8回	ネイルチップ作成
第9回	ネイルチップ作成
第10回	ネイルチップ作成
第11回	ネイルチップ作成
第12回	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
第13回	自分が作ったネイルチップとブライダルコラージュ作成
第14回	★評価週・コラージュ作成予備
第15回	★まとめ・コラージュ作成予備
準備学習 時間外学習	授業で学んだことは授業外でも実践してみましよう。 苦手なことができたならそのままにせずメモなどをして次の授業で消化できるようにしておくことが望ましいです。 最後にブライダルネイルチップ撮影をします。それまでにドレス、ブーケ、ネイル、背景などを考えておいてください。
評価方法	ネイルチップ制作、コラージュ作成50% 授業態度50%
受講生への メッセージ	ジェルネイルチップを作成する授業です。 将来ブライダルに関わるお仕事をする際にブライダルネイルデザインのご提案の仕方やカウンセリング力を身につけて新郎新婦様のお役に立つことができます。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・コットン・キッチンペーパー・エメリーボード×人数・ウッドスティック×人数・ブルークロス×1・ポリッシュリムーバー×1L1個からポリッシュボトル×人数・からディスプレイ×人数・ポリッシュトップ×人数・ポリッシュベース×人数・ジェル筆×人数 ・ジェルライト×人数・ネイルチップクリア×人数・ネイルチップを作るための材料 <p>※全て学校用意</p>	

科目名 (英)	ジュエリー知識	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	jewelry knowledge	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
結婚式やブライダル業界で使われるジュエリーについて詳しく学びます。 ※実務経験							
【到達目標】							
ジュエリーの基礎知識を理解し、対面で説明できるようになることを意図します。							

授業計画・内容	
第1回	ジュエリーの定義。発生や発達、歴史について学びます。
第2回	ジュエリーの産業の流通構造について・近年のブライダルジュエリーについて
第3回	宝石の基礎知識・天然石のその処理、鑑別書と鑑定書については説明できるようになる
第4回	ダイヤモンドの歴史、形成と産地。性質、4Cを理解し、説明できるようになる
第5回	主なカラーストーン、誕生石、合成や処理について(モース硬度など)鑑別書の表記などについて理解する
第6回	貴金属とは。ジュエリーに使用する貴金属の意味、金・プラチナ・シルバー品位。割り金、金性について。アレルギーなど理解する。
第7回	中間試験
第8回	真珠について(日本を代表する宝石)真珠の歴史、真珠のメカニズム、お手入れなど理解する
第9回	商品概論、商品知識、基本デザイン、種類、分類各部位の名称や呼称などを理解する。
第10回	ジュエリー販売の基礎、販売員(ジュエリーコーディネーター)の役割、消費者の購買行動、接客技術などを理解する
第11回	宝石の勤め方、実践ロールプレイング(結婚指輪カップル・婚約指輪男性のみ)
第12回	期末試験に向けて
第13回	期末試験に向けて
第14回	期末試験
第15回	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験・期末試験 ともに50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フードビバレッジ実習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白川 明彦 / 石川 康二 / 上園 信也
	Beverage foundation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	随時

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル、レストラン、御礼等に必要な知識やスキルを実習形式で学びます。

※実務経歴：
 <石川>1988年～2009年の21年間日本料理を歴任。ホテル・料亭・寿司割烹店で活躍。専門調理師日本料理取得・専門調理師寿司料理取得・調理師免許取得・全日調理師協会日本料理師範の称号受賞・河豚免許取得
 <白川>1988年4月～2012年3月までホテル、レストラン、給食委託事業に勤務。ホテル、レストラン、病院給食部門、老健施設、社食、寮などの立上げ提供のオペレーションからメニュー開発まで統括SV、料理長にて運営に携わる。公益法人 全日本司厨士協会福岡支部 理事・アカデミー賞賞授与 / 社団法人 日本エスコフオエ協会 ティンブル章授与。免許取得：西洋部門(専門調理師・調理技能士)、調理師免許
 <上園>東京恵比寿・熊本(モリコーネ)・イタリアナポリ(BAR ROSSO)・鹿児島(トレグラッポリ)にてカフェ・レストランにてマネージャー&バリスタとして10年間勤務し、様々なカフェのオープニング立ち上げやバリスタの育成に従事。JBA(日本バリスタ協会)認定資格・IAC(国際カフェテイティング協会)認定資格取得。

【到達目標】

- ・レストラン・婚礼の場で自身がサー빙する(提供する)際、その一皿がどのような過程(材料・調理法・レシピ)で作られているのかを学び体感することができる。
- ・アレルギーや宗教的な面で調理スタッフが気を付けていることを知ることができる。

授業計画・内容	
1回目	6月20日(金) 1限 オリエンテーション(授業の内容、シラバス確認、授業日確認) ※703教室に集合してください
2回目	6月27日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
3回目	7月11日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
4回目	7月18日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
5回目	7月22日(火) 1限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理①
6回目	7月22日(火) 2限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理②
7回目	7月22日(火) 3限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう①
8回目	7月22日(火) 4限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう②
9回目	7月23日(水) 1限 <石川先生> 日本料理の歴史・文化を知ることができる。
10回目	7月23日(水) 2限 <石川先生> 日本料理の懐石料理・精進料理・茶懐石料理について学ぶ
11回目	7月23日(水) 3限 <石川先生> 日本料理の食事の取り方とマナーについて知ることができる。
12回目	7月24日(木) 1限 <上園先生> 紅茶の歴史～3大紅茶～試飲
13回目	7月24日(木) 2限 <上園先生> 珈琲の歴史～ドリップ抽出～ドリップ以外の様々な抽出について学ぶことができる。
14回目	7月24日(木) 3限 <上園先生> 近代の珈琲～エスプレッソ抽出～試飲について知ることができる。
15回目	7月24日(木) 4限 授業のまとめ(最終レポートを記入)
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題レポート 100% ※7月24日 4限にレポートを記入し、内容で評価します。
受講生への メッセージ	皆さんが目指すホスピタリティ業界で、食や料飲サービスはとても重要な要素です。 自分にとってプラスになる知識やスキルを学ぶことができるので各講義でしっかり吸収していきましょう！ ※授業日がイレギュラーなため、日程を各自漏れなく確認してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
第5回目以降、エプロン・三角巾・黒ボトムスで参加すること。(アクセサリ、時計は必ず外す)身だしなみが整っていない場合、授業に出席することはできません。	

科目名 (英)	フードビバレッジ実習 Beverage foundation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) フードからドリンクまで食の分野に関する応用知識を学びます。</p> <p>※教務実務経歴: 1994年～2011年まで現場でパティシエとして勤務、ホテルのシェフパティシエや商品開発も行う 資格: 技能検定1級、職業訓練指導員他</p>							
<p>【到達目標】 業界で働くにあたって必要な食に関する応用知識を取得出来る</p>							

授業計画・内容	
1回目	婚礼における食分野の基礎知識 復習
2回目	婚礼における食やサービスについて
3回目	婚礼における食やサービスについて
4回目	婚礼における食やサービスについて
5回目	婚礼における食やサービスについて
6回目	婚礼における食やサービスについて
7回目	婚礼における食やサービスについて
8回目	婚礼における食やサービスについて
9回目	婚礼における食やサービスについて
10回目	婚礼における食やサービスについて
11回目	婚礼における食やサービスについて
12回目	婚礼における食やサービスについて
13回目	婚礼における食やサービスについて
14回目	期末評価
15回目	授業のまとめ(最終レポートを記入)
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題レポート 100%
受講生への メッセージ	皆さんが目指すホスピタリティ業界で、食や料飲サービスはとても重要な要素です。 自分にとってプラスになる知識やスキルを学ぶことができるので各講義でしっかり吸収していきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

※実務経験: レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務

【到達目標】
レストラン技能検定に全員合格することができる。

授業計画・内容	
1回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
2回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
3回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
4回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
5回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
6回目	2024年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる
7回目	課題の抽出と克服
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る
11回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来るようになる
12回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来るようになる
13回目	実技試験対策
14回目	評価週 実技試験対策
15回目	実技試験対策
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】
西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	宗教別挙式 & 音楽	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	religion Separate Wedding Ceremony and music	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
宗教別に異なる挙式の種類を理解し、またそれぞれの挙式で使われる音楽や楽器について知ることができる。							
※実務経験: 大学で声楽、作曲を学び、高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得。その後、ホテルでの勤務経験もある。(4年)							
【到達目標】							
宗教別に異なる挙式の種類を理解する。 それぞれの挙式で使われる音楽や楽器について知ることができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション
第2回	挙式の種類について(振り返りも含む)
第3回	①キリスト教式 音楽の種類について
第4回	①キリスト教式 使用される楽器について
第5回	①キリスト教式 まとめ(実際の流れを通して実践する)
第6回	②神前式 音楽の種類について
第7回	②神前式 使用される楽器について
第8回	②神前式 まとめ(実際の流れを通して実践する)
第9回	③人前式 特徴
第10回	③人前式 特徴
第11回	③人前式 まとめ(実際の流れを通して実践する)
第12回	ここまでのまとめ(挙式の種類、音楽、楽器について)
第13回	評価週に向けての事前学習
第14回	期末試験
第15回	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	結婚式で音楽は重要な役割を果たします。楽しみながら学びましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロジェクションマッピング	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	projection mapping	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像効果を学び、実際の式場やホテルでも取り入れられているプロジェクションマッピングについて学びます。							
※実務経験:							
【到達目標】							
プロジェクションマッピングの基礎知識を身につけることができる。 実際の活用例を知り、その効果を説明することができる。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション
第2回	プロジェクションマッピングの基礎知識を学ぶ
第3回	プロジェクションマッピングの事例
第4回	プロジェクションマッピングの事例
第5回	プロジェクションマッピングの事例
第6回	プロジェクションマッピングの作り方
第7回	プロジェクションマッピングの作り方
第8回	プロジェクションマッピングの作り方
第9回	映像制作
第10回	映像制作
第11回	映像制作
第12回	映像制作
第13回	映像制作
第14回	期末試験
第15回	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末試験 100%
受講生への メッセージ	プロジェクションマッピングを取り入れている式場も多くあります。事例を学び効果を理解しましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル Bridal professional	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	兒玉 悠太郎
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3時限
【授業の学習内容】							
<p>ユミカツインターナショナル認定の「ブライダルコーディネーター」取得に向けた授業を行います。</p> <p>※実務経験：長崎県ルークプラザホテル(株式会社BP)に10年勤務。新規セールス、ウエディングプランナー、バンケットディレクター、の仕事を兼務。宿泊のカウンター業務やロビーでのゲストリレーションズ、披露宴会場のPAの業務も並行して従事。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ユミカツインターナショナル認定「ブライダルコーディネーター」取得を通して、より一層の業界理解を深めることができるようになる。 ・自分のオリジナリティを大切に、一貫した価値観とテーマのもとプランニングを行うことができるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
2回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
3回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
4回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
5回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
6回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
7回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
8回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
9回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
10回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
11回目	ブライダルコーディネーター 筆記試験対策
12回目	ブライダルコーディネーター 本試験
13回目	本試験の回答、振り返り
14回目	後期授業に向けた、事前準備
15回目	後期授業に向けた、事前準備
準備学習 時間外学習	必要に応じて、授業内で解いた問題の復習
評価方法	試験点数 100%(本試験の点数に応じて評価する。)
受講生への メッセージ	全日本ブライダル協会認定 ブライダルコーディネーターの資格取得のための授業です。
【使用教科書・教材・参考書】	
◎【ブライダルの基礎知識-プロへの第一歩-】を使用します。	

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Bridal Professional	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 ユミカツラインターナショナル認定「ふるさとウェディング」をテーマとしたプランニングを考案・プレゼンテーションを行います。 ※一部職業講話等あり。中間発表や最終発表の日程が曜日異なりますので注意してください							
【到達目標】 ユミカツラインターナショナル認定「ブライダルコーディネーター」取得を通して、より一層の業界理解を深めることができるようになる。 チーム内で一貫した価値観とテーマのもと、トータルコーディネートを含むプランニングを行うことができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	過去のコンテストビデオ視聴をし、概要やするべきことを理解することができる。
第3回	グループに分かれて設定やテーマを考える
第4回	職業講話 株式会社Square Feet 柳勝博様 『社会人としてのモチベーションマネジメント』現代社会における開業の意味や、組織での立ち回り、ライフコーチングについて知ることができる※教室変更の可能性あり
第5回	プランニング考案①各自作業を行い、プランニングを行う
第6回	プランニング考案②各自作業を行い、プランニングを行う
第7回	プランニング考案③各自作業を行い、プランニングを行う
第8回	中間報告の資料を完成させる(誤字・脱字・資料の正確さ、ソースの不安定さがないかを特に確認する)/中間リハーサル
第9回	中間発表 審査員: 櫻井まどか先生
第10回	プランニング考案④各自作業を行い、プランニングを行う ※中間発表での指摘を受け、改善を行う
第11回	プランニング考案⑤各自作業を行い、プランニングを行う
第12回	プランニング考案⑥各自作業を行い、プランニングを行う
第13回	最終発表の資料を完成させる(誤字・脱字・資料の正確さ、ソースの不安定さがないかを特に確認する)/最終リハーサル
第14回	最終発表 審査員: 櫻井まどか先生
第15回	まとめ・お楽しみ会
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	授業態度50%、課題発表50%
受講生への メッセージ	桂由美先生の前で皆さんのプレゼンテーションを発表することが叶わずとも残念ではございますが、桂先生のブライダルへの想いがこもった「ふるさとウェディング」を継承し、プランニングを考えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料、PC必須(必ず充電をしたうえで持参すること。データの管理は各自で行ってください)	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント・ブライダルプロジェクト Bridal management・bridal project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3・4時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
数字を使いこなせるよう学びます。

※実務経験:株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。

【到達目標】
数字を使いこなす : 頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる
社会人としての一般常識、学生との違いを理解し、一般常識を備えたうえで、社会人デビューするためのスキルを身につけることができる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
2回目	目標達成を数値化する方法1 : 目標設定 : 頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
3回目	目標達成を数値化する方法2 : アンカリング効果 : 顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
4回目	目標達成を数値化する方法3 : サムシングニューの数字設定 : マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
5回目	言語化のポイントは数字で表現する1 : 思考のものさし : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
6回目	言語化のポイントは数字で表現する2 : 理解語彙と使用語彙 : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
7回目	言語化のポイントは数字で表現する3 : 具体化 : 頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
8回目	言語化のポイントは数字で表現する4 : プロフィールを数字で作成 : セールス時の説得力を身につけることができる
9回目	マネジメント 経費のコンプライアンス1 : 会社経費編 マネジメントをする上で絶対に知っておく必要がある正しい見識を身につけることができる
10回目	マネジメント 経費のコンプライアンス2 : 会社備品編 マネジメントをする上で絶対に知っておく必要がある正しい見識を身につけることができる
11回目	マネジメント ヒヤリハット 1 : 社会にできれば一般常識。知らなかったでは済まされない様々なヒヤリハット事例:社会人一般常識(経費に関する事)を見つけることができる
12回目	マネジメント ヒヤリハット 2 : 社会にできれば一般常識。知らなかったでは済まされない様々なヒヤリハット事例:社会人一般常識(申請に関する事)を見つけることができる
13回目	マネジメント ほうれんそう 1 : ほうれんそうの強化で身をまもる 会社の了承を得ることの重要性 : 自覚がない、一番怖いのは自身を守れないこと 正しい申請とほうれんそうで自身を守るスキルを身につけることができる
14回目	期末テスト
15回目	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用した制作物及びロープレ・アウトプット 100%
受講生への メッセージ	数字が理解できたなら、次のステップは、【伝える】こと。頭の中を整理して、明確な言葉でアウトプット、伝達できるスキルを身につけましょう。社会人としての一般常識が備え、自信をもって社会人デビューをしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	接客ロールプレイ role playing	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	馬渡 泰子 / 兒玉 悠太郎
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界に出て即戦力となれるよう、接客に関する知識と技術を身に付けることができる。							
実務経験: (馬渡)シティホテル勤務11年中、7年の営業部婚礼課所属。新規セールス1年、ウエディングプランナーとして6年で約480組の婚礼のプランニング。専門学校5年勤務にて、ブライダルコースの座学(ブライダルコーディネート技能検定3級対策)、実技(ウエディングプランニング)を担当。 (兒玉)長崎県ルークプラザホテル(株式会社BP)に10年勤務。新規セールス、ウエディングプランナー、バンケットディレクター、の仕事を兼務。宿泊のカウンター業務やロビーでのゲストリレーションズ、披露宴会場のPAの業務も並行して従事。							
【到達目標】 ・接客において必要な知識及び技術を身につけることができる。 ・実際の社会人同様に接客ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	導入 授業の目的と基礎接客の振り返りを行う。(相手に好感を持たせる第一印象づくりができるようになる)
2回目	基礎接客の振り返り(言葉遣い、お客様を席まで案内する際の立ち回り(挨拶と名刺交換)がスムーズにできるようになる)
3回目	実践会話Ⅰ (相手の発言の受け止め方、返答方法、共感、自己開示の方法を学び行動できるようになる)
4回目	実践会話Ⅱ (ヒアリングから限定質問、開示質問の方法を学び、話題が広げられるようになる)
5回目	実践会話Ⅲ (ヒアリング内容からの提案方法と強みの分析方法を学び、お客様に提案ができるようになる)
6回目	接客時の話し言葉と忌み言葉 (接客者として相応しい言葉を使えるようになる)
7回目	お客様の分析、統計学 (その人に合った接客ができるようになる)
8回目	中間筆記試験(言葉遣い、忌み言葉)
9回目	実践ロールプレイⅠ 電話応対がスムーズにできるようになる。
10回目	実践ロールプレイⅡ 受付(ブライダルサロン、ドレスショップなど)での対応ができるようになる。
11回目	実践ロールプレイⅢ 新規接客ができるようになる。
12回目	実践ロールプレイⅣ 接客時提案ができるようになる。
13回目	期末ロールプレイのお題発表と発表準備
14回目	期末ロールプレイ試験 (3分で個人発表を行う)
15回目	まとめ ブライダル業界実例の紹介など
準備学習 時間外学習	
評価方法	・中間筆記試験 50% ・期末ロールプレイ実技試験 50%
受講生への メッセージ	ウエディングプランナー、ドレススタイリスト等、全ての職業で通用する接客技術です。言語化しづらい接客分野をロジック化してわかりやすく説明します。習得して、社会に出た際に良いスタートをきれるようがんばりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	増田 綾香 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 自分たちが考えた内容を企業様へ提案し、実際の式場へプレゼンテーションを行うことで提案力やプレゼンテーション力を身につけます。</p> <p>※実務経験:IKK株式会社にてウェディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウェディングプランナー兼 業務委託でライフローラ株式会社のウェディングプランナーを担当中。また、WEBマーケティングについての講義実績も有る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容、式場へのプレゼンテーションに向けて全員で取り組むことが出来る。 ・効果的なプレゼンテーションを行い、心を掴むアイデア力と提案力を身につける。 ・一つのプロジェクトを広い視野で考えることで、その先を見据えた思考力を身につける。 							

授業計画・内容	
1回目	今年度企業プロジェクトテーマの発表・チーム分け ★企業→商品考案、式場→考案した商品を提案
2回目	演出案、企業名などの調査、グループごとの集約
3回目	グループごとの発表・代表グループの選出
4回目	企業に提案する際の資料作成(企業へのアポどり)
5回目	商品導入をしていただく式場の選出
6回目	企業へ訪問、演出の提案
7回目	いただいたフィードバックの振り返り・改善案の検討
8回目	商品の仮作成
9回目	仮作成した商品を使用した、企業へのプレゼン
10回目	OKの場合、商品導入式場へのアポどり
11回目	式場に対してのプレゼン資料の作成①
12回目	式場に対してのプレゼン資料の作成②
13回目	企業との最終確認
14回目	式場へのプレゼン
15回目	プレゼン後の振り返り
準備学習 時間外学習	企業訪問については時間割外の時間帯と調整をしながら設定をする場合があります。(事前告知します)
評価方法	グループワーク、課題 50% プレゼンテーション 50%
受講生への メッセージ	実際に企業様に向けて商品を提案することで、現場力も身に着きます。現場の方の意見やフィードバックを通して、自分たちに必要な知識やスキルを改めて理解し、成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
資料作成等にPCもしくはタブレットを使用します。	

科目名 (英)	企業プロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Corporate CollaborationProject	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 企業様・官公庁様とのタイアップ企画を通して、より現場に近い場所で学び卒業後に即戦力となる人材を育成します。							
【到達目標】 ・イベントを行い、企画・運営・集客について実践し学ぶことができる ・リアルウェディングに向け、ご協力企業様と共に結婚式披露宴を企画・運営を行い業界のやりがいや難しさを感じることができる。							

授業計画・内容	
第1回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第2回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第3回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第4回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第5回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第6回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第7回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第8回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第9回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第10回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第11回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第12回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第13回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第14回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第15回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
準備学習 時間外学習	
評価方法	イベントの成功 100%
受講生への メッセージ	3年間の集大成として2つのプロジェクトに取り組みます。 ほとんどの方が人生で最後の学生生活を送ることになる最後の半年間、後悔のないように過ごしましょう。 全員が責任感をもってお客様と接し、努力し、プロジェクトに取り組むことを期待しています。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロジェクト bridal project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	黒岩 初美 / 児玉 悠太郎 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3時限(随時)
【授業の学習内容】 新郎新婦の情報や背景を使用して、その方たちが希望する内容を考えて、提案を行う。 挙式・披露宴での、各役職の仕事を理解し、必要な能力を学ぶ。 実際の新郎新婦様との契約ができ次第、リアルウェディングの準備を行う場合もある。 ※実務経験：長崎県ルークプラザホテル(株式会社BP)に10年勤務。新規セールス、ウェディングプランナー、バンケットディレクター、の仕事も兼務。宿泊のカウンター業務やロビーでのゲストリレーションズ、披露宴会場のPAの業務も並行して従事。							
【到達目標】 ヒアリングされた内容を元に、新郎新婦の望む提案ができるようになる。 実際の施行にて必要となる能力を身につけ、行動に生かすことができる。							

授業計画・内容	
1回目	仮の新郎新婦情報から、希望内容や演出を読み解く。
2回目	読み解いた情報を元に、提案する内容を検討する。
3回目	検討した内容を取り入れた、披露宴の進行を作成する。①
4回目	検討した内容を取り入れた、披露宴の進行を作成する。②
5回目	検討した内容を発表する。①
6回目	検討した内容を発表する。②
7回目	披露宴進行表のサンプルを用いて、各役職の動きを確認する。
8回目	グループに分かれて、スタッフの配置・動きの実践を行う。①
9回目	グループに分かれて、スタッフの配置・動きの実践を行う。②
10回目	配置・動きの反省、改善点の検討
11回目	披露宴進行表の読み解き、流れの組み方を理解する。
12回目	披露宴進行の時間組みや、歓談のタイミングを検討する。①
13回目	披露宴進行の時間組みや、歓談のタイミングを検討する。②
14回目	グループごとに時間組みをした進行表に合わせたロープレを行う。①
15回目	グループごとに時間組みをした進行表に合わせたロープレを行う。②
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	グループ内での協調性 100% 進行表に合わせ、正確な行動がとれているか。
受講生への メッセージ	3年生になり、より実践的なロープレを行います。 現場で必ず使用する能力を、授業を通じて学んでいきましょう。 ※イベントを授業とするため、授業日については別途お知らせ致します。(木曜日以外で設定する場合がありますが、告知したうえで進めます)
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ブライダルプロジェクト bridal project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。 都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 企業様・官公庁様とのタイアップ企画を通して、より現場に近い場所で学び卒業後に即戦力となる人材を育成します。							
【到達目標】 ・イベントを行い、企画・運営・集客について実践し学ぶことができる ・リアルウェディングに向け、ご協力企業様と共に結婚式披露宴を企画・運営を行い業界のやりがいや難しさを感じることができる。							

授業計画・内容	
第1回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第2回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第3回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第4回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第5回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第6回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第7回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第8回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第9回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第10回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第11回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第12回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第13回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第14回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
第15回	イベントの企画・運営 / リアルウェディングの準備
準備学習 時間外学習	
評価方法	イベントの成功 100%
受講生への メッセージ	3年間の集大成として2つのプロジェクトに取り組みます。 ほとんどの方が人生で最後の学生生活を送ることになる最後の半年間、後悔のないように過ごしましょう。 全員が責任感をもってお客様と接し、努力し、プロジェクトに取り組むことを期待しています。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	卒業制作 Graduation Work	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 中尾美奈:教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。都内近郊の結婚式場等にて10年間模擬挙式・模擬披露宴・ドレスショーに出演。その他ファッションブランド・ドレスショップの展示会、広告・ストックフォト等にモデルとして携わった。 【授業内容】 3年間の集大成として作品づくり/プランニング考案などを行い、卒業制作展にて展示します。							
【到達目標】 自身の3年を振り返りながら卒業制作を行い、卒業制作展にて発表する。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	個人での実施もしくはグループでの実施のいずれかを選択し、テーマを決定する。
第3回	テーマに基づいた作品制作を行う①
第4回	テーマに基づいた作品制作を行う②
第5回	テーマに基づいた作品制作を行う③
第6回	テーマに基づいた作品制作を行う④
第7回	テーマに基づいた作品制作を行う⑤
第8回	中間報告
第9回	テーマに基づいた作品制作を行う⑥
第10回	テーマに基づいた作品制作を行う⑦
第11回	テーマに基づいた作品制作を行う⑧
第12回	テーマに基づいた作品制作を行う⑨
第13回	作品提出
第14回	評価週 最終プレゼンテーション 作品発表 (一人5分間)
第15回	作品展示の準備 ※最終調整は卒業制作展準備にて行います
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、作品発表50%
受講生への メッセージ	色々な形で皆さんの3年を表現してください。予算内で自身の作品を「売り込む力」「伝える力」を確実にするために展示やプレゼンテーションにも取り組んでいきます。 ほとんどの方が人生で最後の学生生活を送ることになる最後の半年間、後悔のないように過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	健康美 Inner Beauty	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】食品と健康、美容とのつながりを理解し、ライフスタイルに合った食品の選び方、食事の内容を考えることができる知識を身につける。</p> <p>【実務経験】管理栄養士、栄養教諭免許保持、病院にて栄養管理業務、栄養指導業務に従事、その後料理代行、洋菓子開発にも携わる</p>							
<p>【到達目標】</p> <p><具体的な目標></p> <p>健康美のための食材の選び方、食事の内容を考えることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:食生活を振り返る
2回目	身体の仕組みと疾病について知ることができる。
3回目	食生活と健康についての知識を習得することができる。
4回目	栄養と健康のつながりについて習得することができる。
5回目	日本の食文化について
6回目	健康美につながる食品、食材の知識を習得することができる
7回目	前半のまとめ・小テスト
8回目	摂取エネルギーと消費エネルギーについて知識を習得することができる。
9回目	食事と美容につなぐについて習得することができる。
10回目	食事と運動から繋がる健康美について習得することができる。
11回目	生活習慣病予防の食事について
12回目	ライフスタイルに合った栄養と運動について習得することができる。
13回目	これからの食生活と健康について
14回目	定期試験
15回目	定期試験・まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業取り組み10% 小テスト30% 筆記試験60%
受講生への メッセージ	食品と健康美のつながりは、とても重要です。楽しみながら、健康について考えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	